

第4期

岩美町地域福祉計画策定のための  
アンケート調査結果報告書

令和2年1月

岩美町

## 第4期岩美町地域福祉計画策定にかかるアンケート調査の概要

### (1) 調査の目的

町民の皆様の地域福祉に関する意識、ニーズ、課題などを把握し福祉計画を策定するうえでの資料とする。

### (2) 調査の概要

①調査対象者 町内在住の20歳以上の男女1,200名

20歳～29歳 男性100名 女性100名

30歳～39歳 男性100名 女性100名

40歳～49歳 男性100名 女性100名

50歳～59歳 男性100名 女性100名

60歳～69歳 男性100名 女性100名

70歳～ 男性100名 女性100名

計 600名 600名

②抽出方法 地区別・男女別・年齢別に無作為に抽出

③調査方法 郵送配布、郵送回収

④調査実施期間 令和2年1月10日（金）まで

### (3) 設問の概要

①地域のつながり、近所付き合いについて

②福祉についての情報源と相談窓口

③地域活動やボランティア活動について

④地域の福祉環境について

⑤地域福祉施策に対する意識調査について

### (4) 回収結果

配布数	有効回収数	有効回収率
1,200通	439通	36.6%

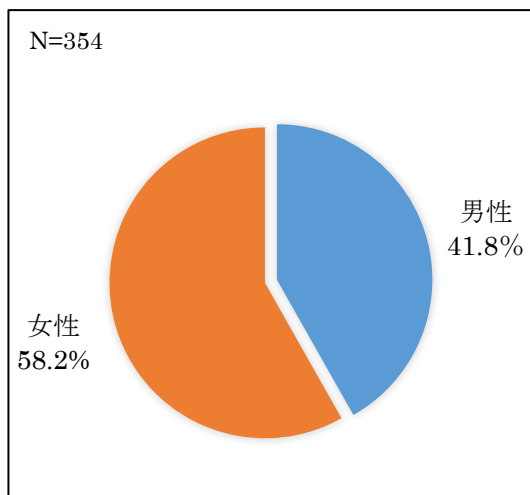
【問1】あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

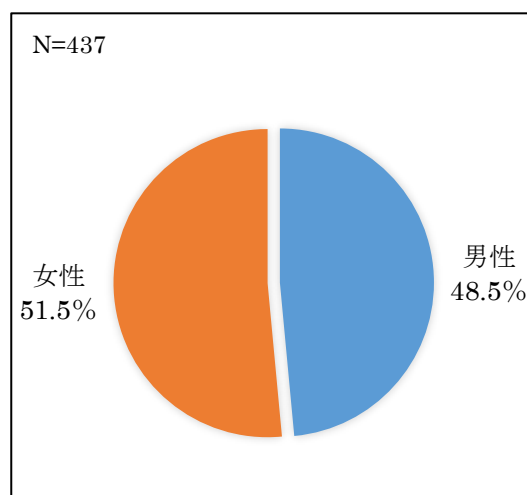
「男性」の割合が48.5(41.8)%、「女性」の割合が51.5(58.2)%の回答がありました。

※括弧書きは、前回のアンケート調査の結果で、以下同じ。

[平成29年度調査]



[令和元年度調査]

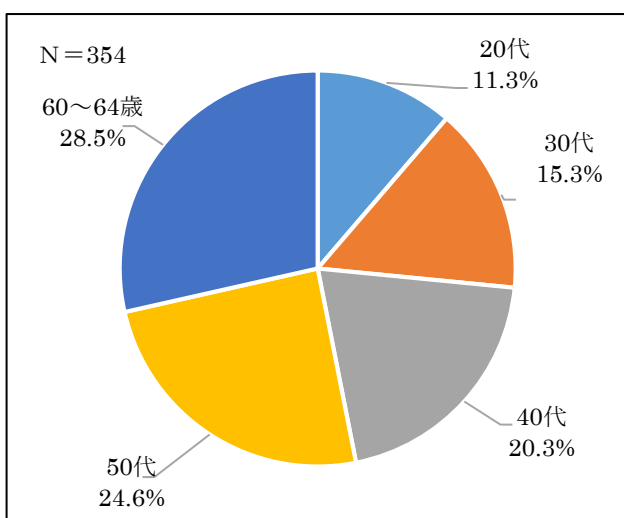


【問2】あなたの年齢をお答えください。(○は1つだけ)

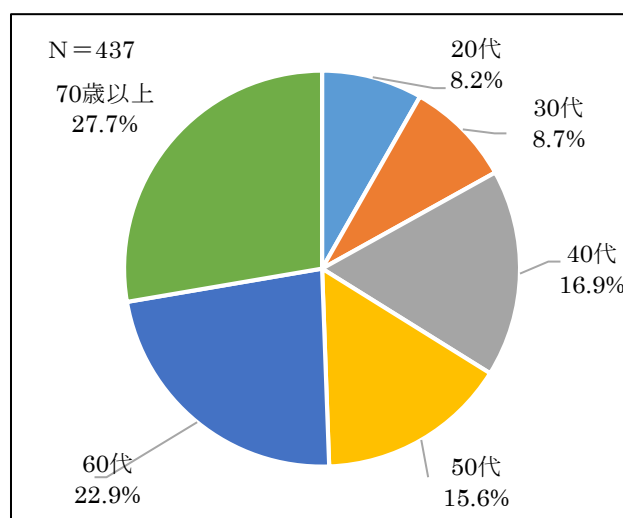
- |        |        |          |
|--------|--------|----------|
| 1. 20代 | 2. 30代 | 3. 40代   |
| 4. 50代 | 5. 60代 | 6. 70歳以上 |

「70歳以上」の割合が、27.7%と最も高く、次いで「60代」の割合が22.9%と前回調査と同じく年代が高いほど回答率が高い傾向にありました。

[平成29年度調査]



[令和元年度調査]



【問3】あなたのお住まいの地域はどこですか。(○は1つだけ)

1. 東地区	2. 浦富地区	3. 田後地区
4. 網代地区	5. 大岩地区	6. 本庄地区
7. 小田地区	8. 岩井地区	9. 蒲生地区

各地区の回答数は、以下のとおりでした。

地 区 名	平成29年度	令和元年度
1. 東地区	26	30
2. 浦富地区	107	142
3. 田後地区	11	18
4. 網代地区	12	17
5. 大岩地区	68	80
6. 本庄地区	43	45
7. 小田地区	24	35
8. 岩井地区	38	50
9. 蒲生地区	19	19
無回答	6	3
計	354	439

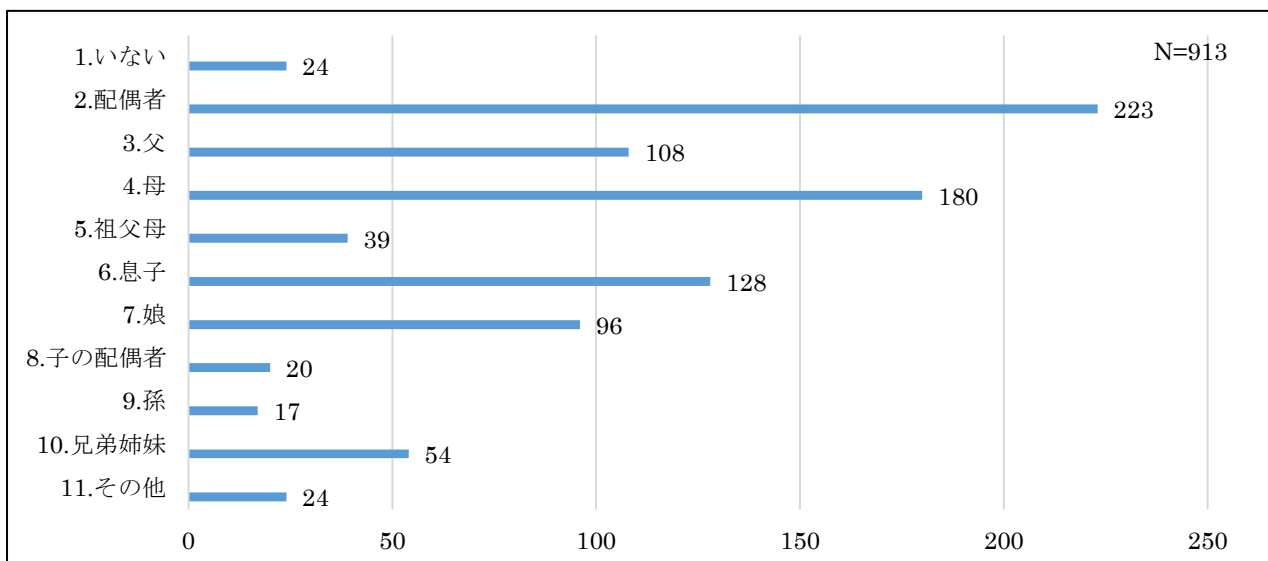
【問4】あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか？（○はいくつでも）

- |                |            |       |
|----------------|------------|-------|
| 1. いない（ひとり暮らし） | 2. 配偶者     | 3. 父  |
| 4. 母           | 5. 祖父母     | 6. 息子 |
| 7. 娘           | 8. 子の配偶者   | 9. 孫  |
| 10. 兄弟姉妹       | 11. その他（ ） |       |

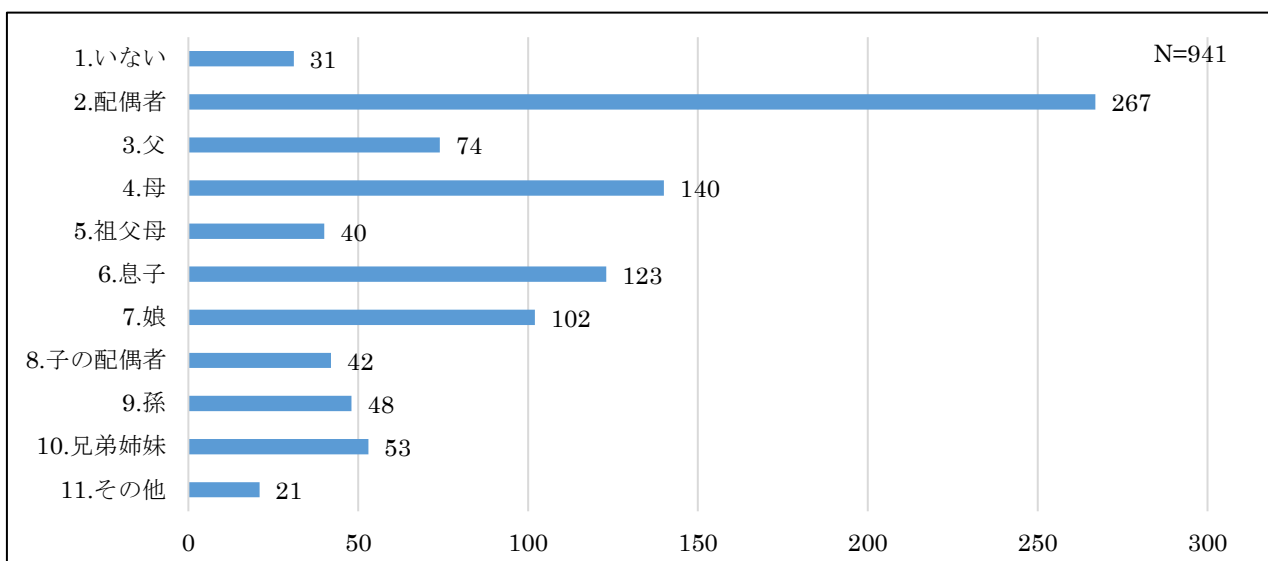
前回の調査と同じく「配偶者」が267（223）件と最も多く、次いで「母」140（180）件、「息子」123（128）件となっています。

「その他」について、「姪」、「甥」、「ひ孫」、「孫の配偶者」、「施設入所」、「義父母」、「内夫」、「親戚」、「配偶者の父・母」、「社員」と記載がありました。

[平成29年度調査]



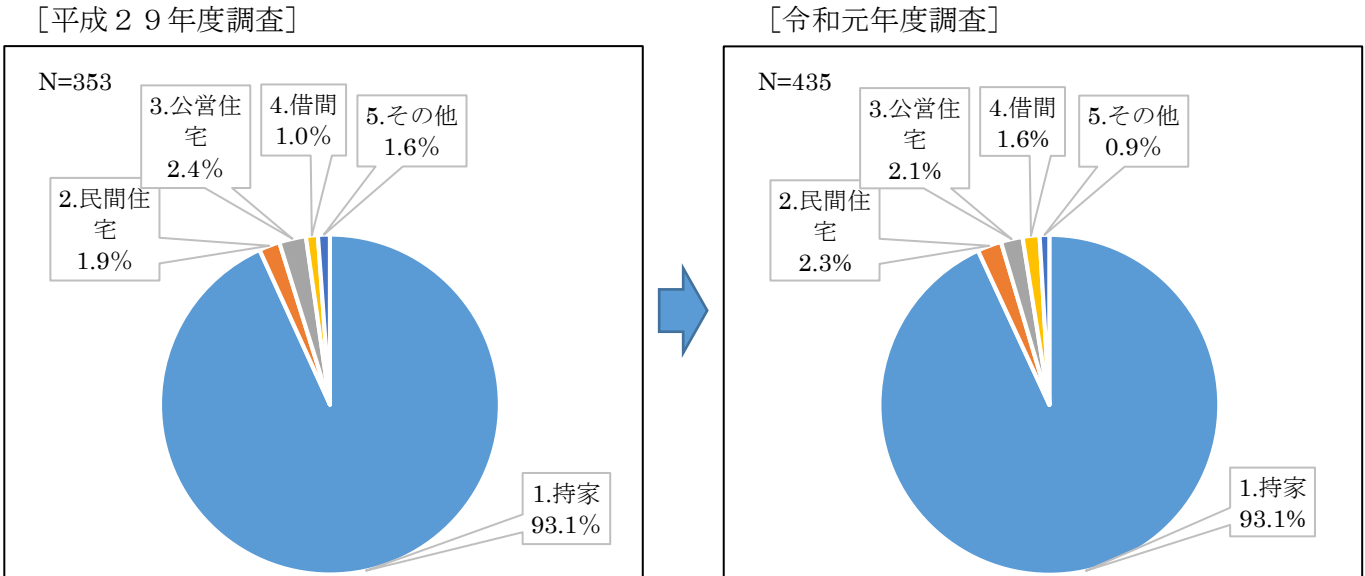
[令和元年度調査]



【問5】あなたのお住まいの形態はどれですか。(○は1つだけ)

- |       |            |         |
|-------|------------|---------|
| 1. 持家 | 2. 民間住宅    | 3. 公営住宅 |
| 4. 借間 | 5. その他 ( ) |         |

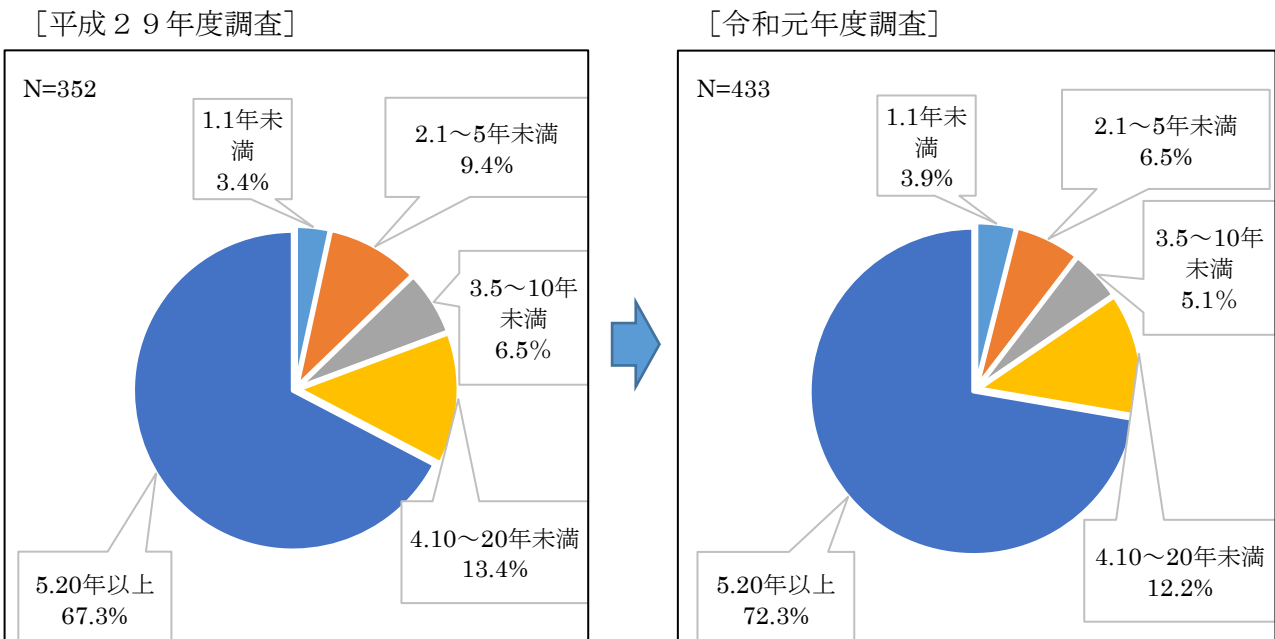
前回の調査と同じく「持家」の割合が93.1(93.1)%と最も高くなっています。「その他」について、「借家」、「親持家」、「施設」と記載がありました。



【問6】あなたが今の住所に住んでから通算で何年になりますか。(○は1つだけ)

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1. 1年未満     | 2. 1年～5年未満   |
| 3. 5年～10年未満 | 4. 10年～20年未満 |
| 5. 20年以上    |              |

前回調査と同じく「20年以上」と「10～20年未満」の割合が84.5(80.7)%で、多くの方が長期にわたり岩美町に住んでいます。



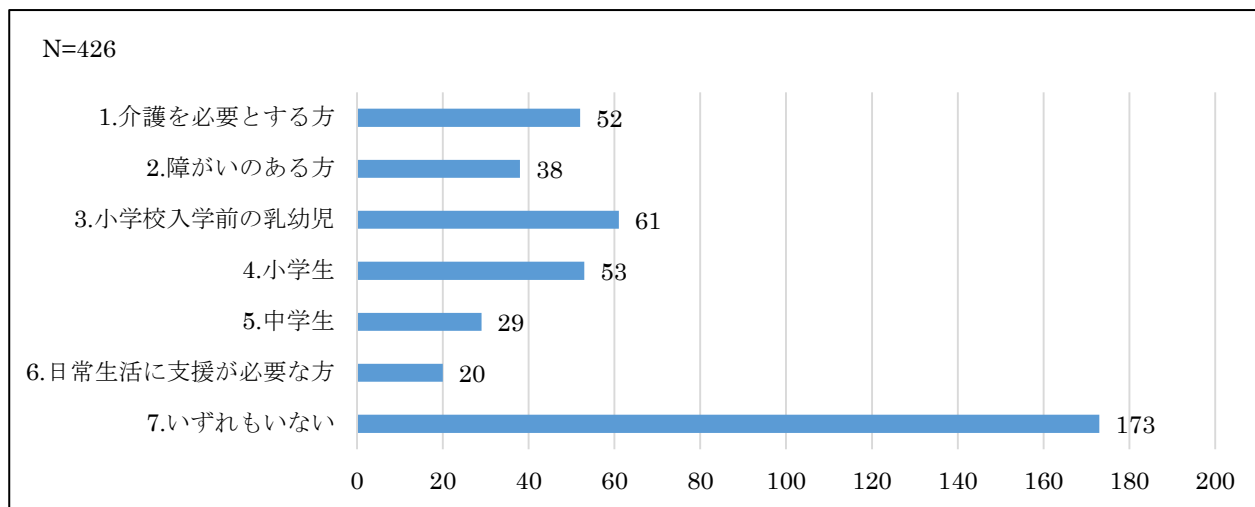
【問7】あなたのご家族（ご自身を含む）に、次のような方はいらっしゃいますか。

（〇はいくつでも）

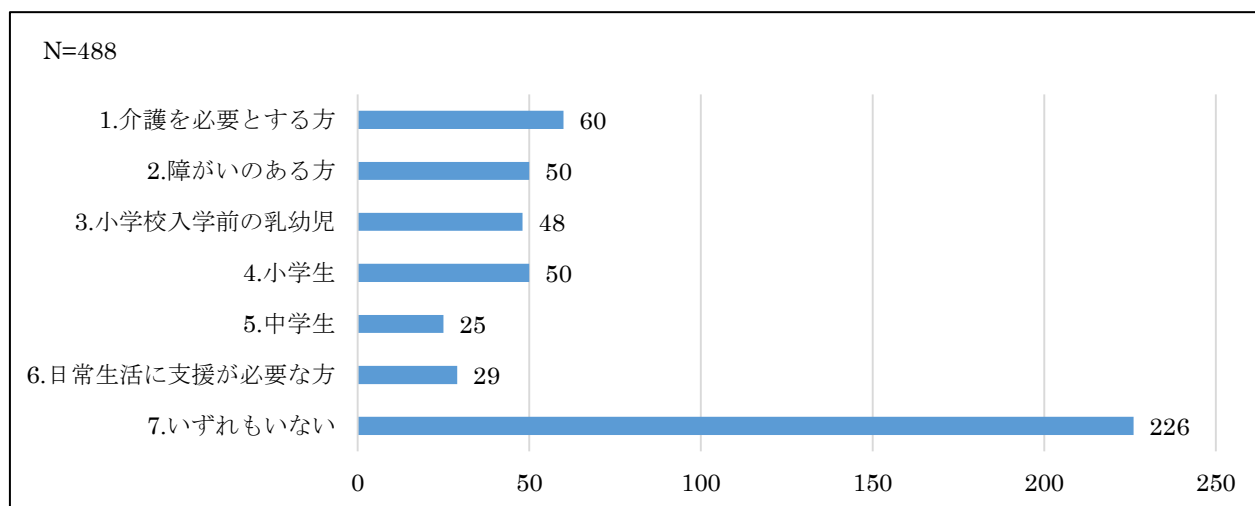
- |               |                         |
|---------------|-------------------------|
| 1. 介護を必要とする方  | 2. 障がいのある方              |
| 3. 小学校入学前の乳幼児 | 4. 小学生                  |
| 5. 中学生        | 6. 日常生活に支援が必要な方(1～5を除く) |
| 7. いずれもない     |                         |

「いずれもない」が226（173）件と最も多く、次いで「介護を必要とする方（小学校入学前の乳幼児）」が60（61）件、「障がいのある方、小学生（小学生）」が50（53）件となっています。

[平成29年度調査]



[令和元年度調査]



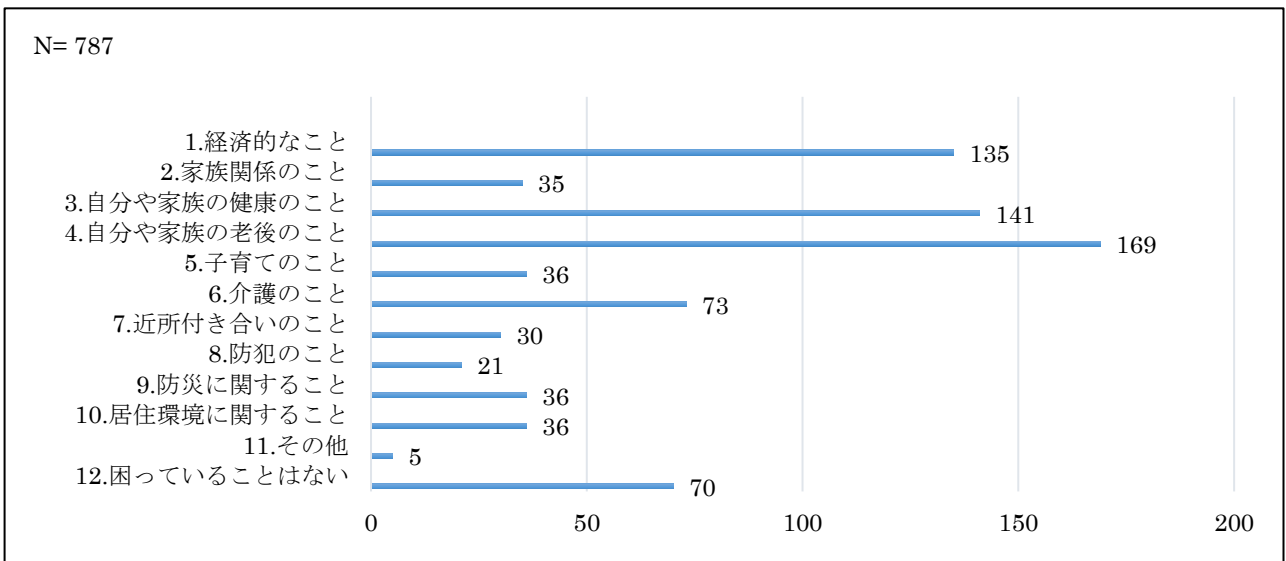
【問8】あなたが困っていることや不安なことは何ですか。(〇はいくつでも)

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 経済的なこと      | 2. 家族関係のこと     |
| 3. 自分や家族の健康のこと | 4. 自分や家族の老後のこと |
| 5. 子育てのこと      | 6. 介護のこと       |
| 7. 近所付き合いのこと   | 8. 防犯のこと       |
| 9. 防災に関すること    | 10. 居住環境に関すること |
| 11. その他 ( )    | 12. 困っていることはない |

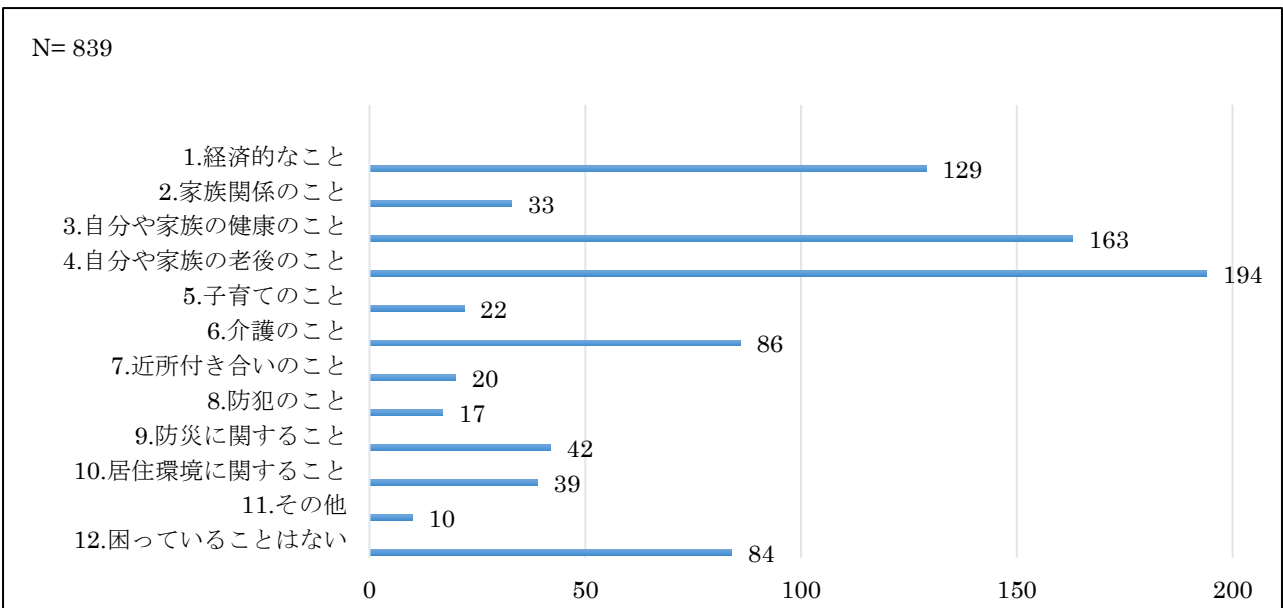
「自分や家族の老後のこと」が194(169)件と最も多く、次いで、「自分や家族の健康のこと」が163(141)件、「経済的なこと」が130(135)件となっています。

「その他」は、「後継者問題」、「除雪」、「違法駐車」、「空家」と記載がありました。

[平成29年度調査]

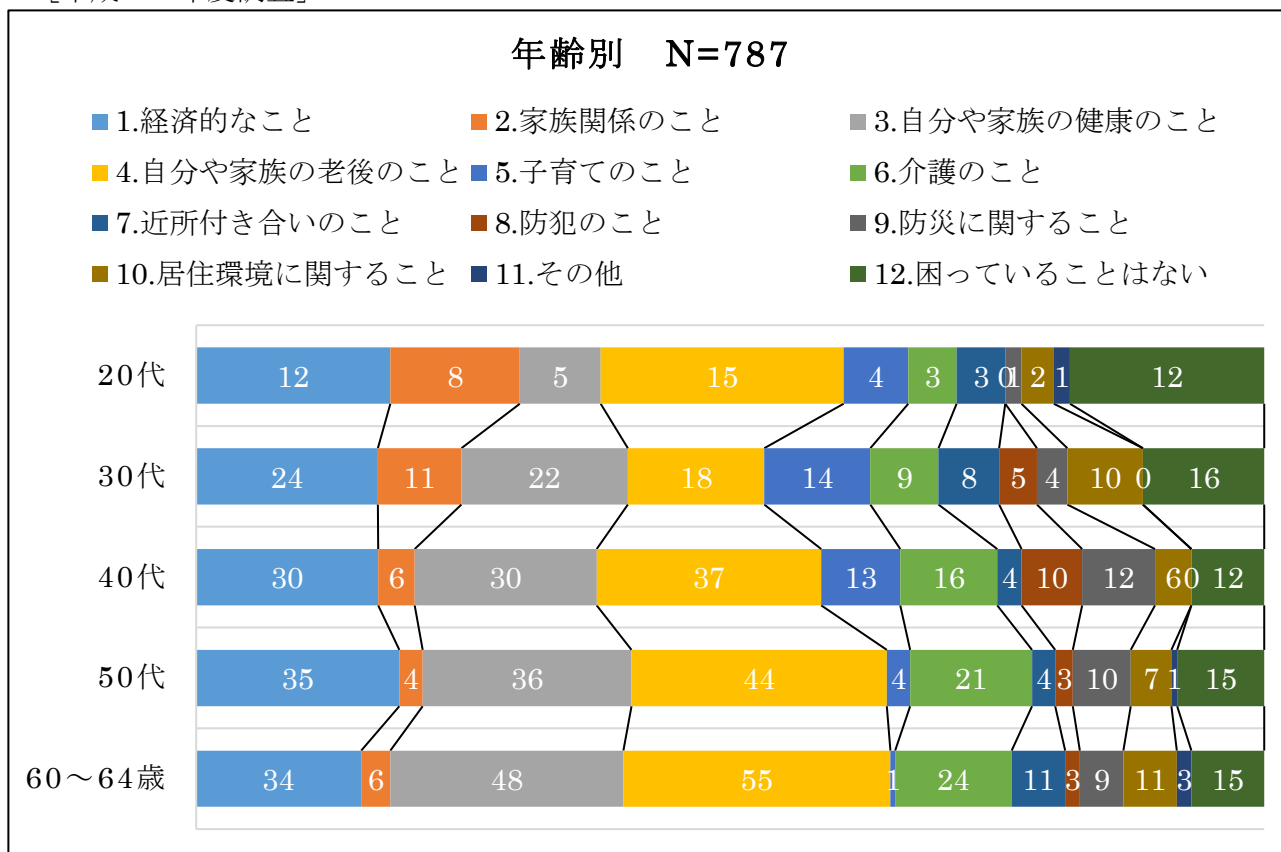


【令和元年度調査】

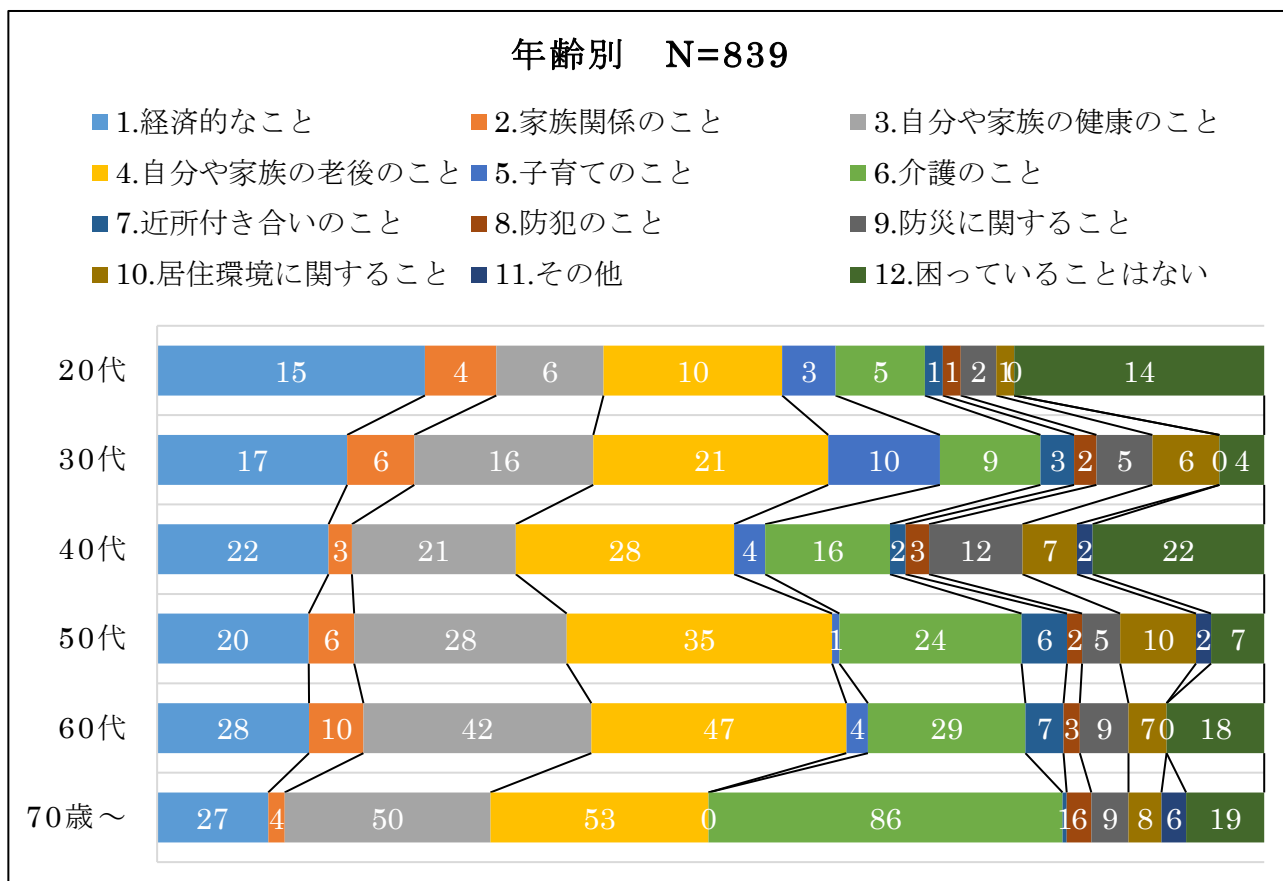




[平成29年度調査]



【令和元年度調査】



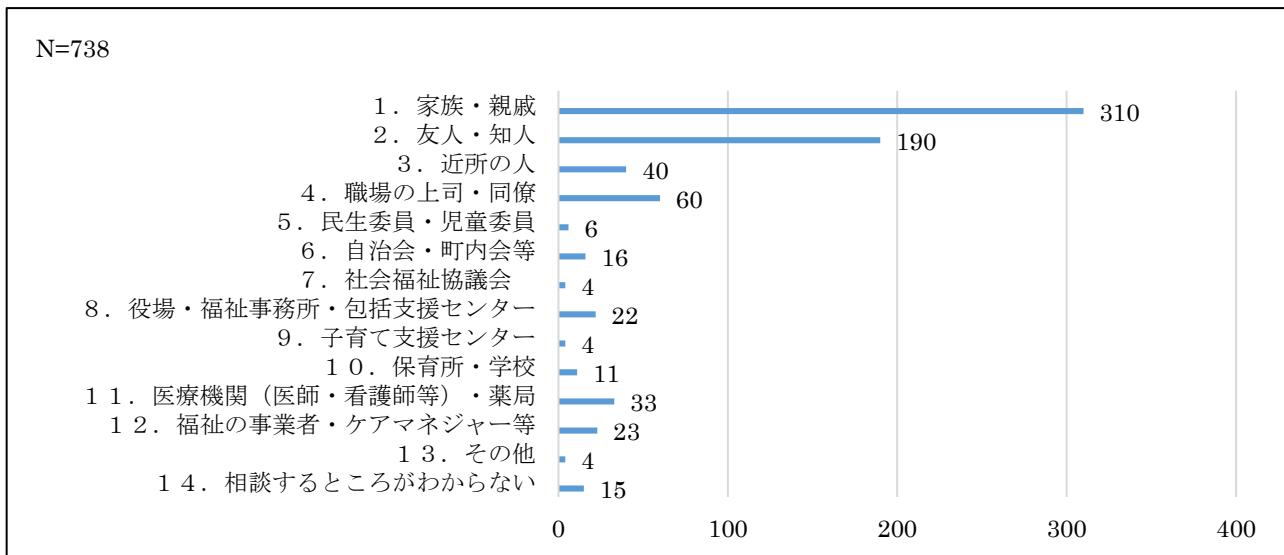
【問9】あなたは困ったとき誰（どこ）に悩みを相談しますか。（〇はいくつでも）

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 家族・親戚             | 2. 友人・知人             |
| 3. 近所の人              | 4. 職場の上司・同僚          |
| 5. 民生委員・児童委員         | 6. 自治会・町内会等          |
| 7. 社会福祉協議会           | 8. 役場・福祉事務所・包括支援センター |
| 9. 子育て支援センター         | 10. 保育所・学校           |
| 11. 医療機関（医師・看護師等）・薬局 | 12. 福祉の事業者・ケアマネージャー等 |
| 13. その他（ ）           | 14. 相談するところがわからない    |

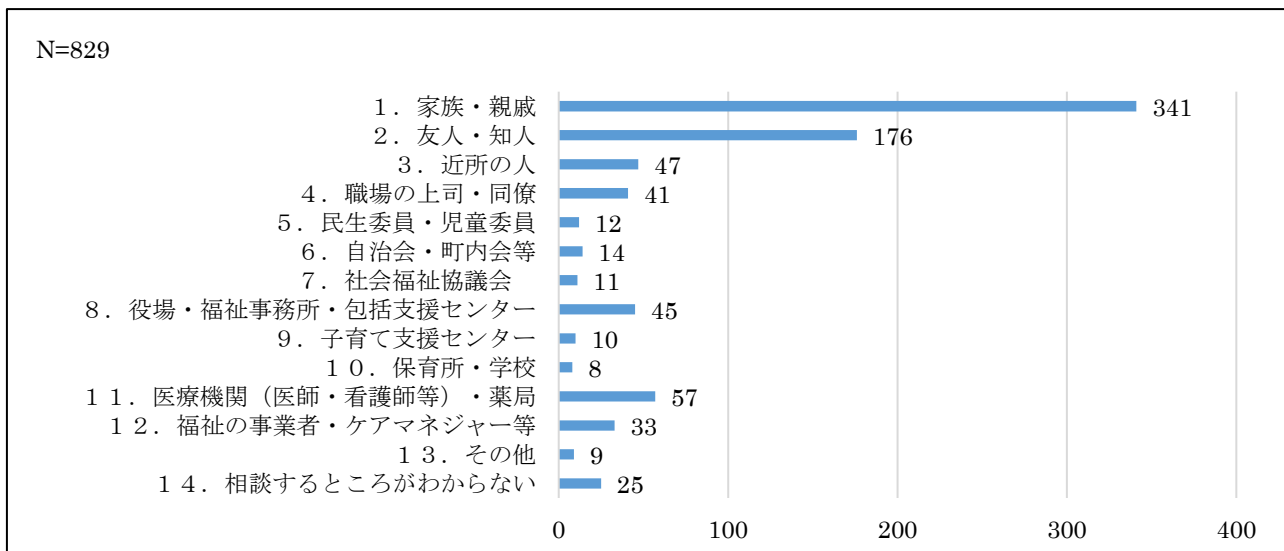
前回調査と同じく「家族・親戚」が341（310）件と最も多く、次いで「友人・知人」が176（190）件となっており、約6割の方が身近な人に相談しています。「相談するところがわからない」は、前回調査に比べて約半分の25（15）件でした。

「その他」について、「相談しない」、「所属している組合」、「サロン」と記載がありました。

【平成29年度調査】



【令和元年度調査】



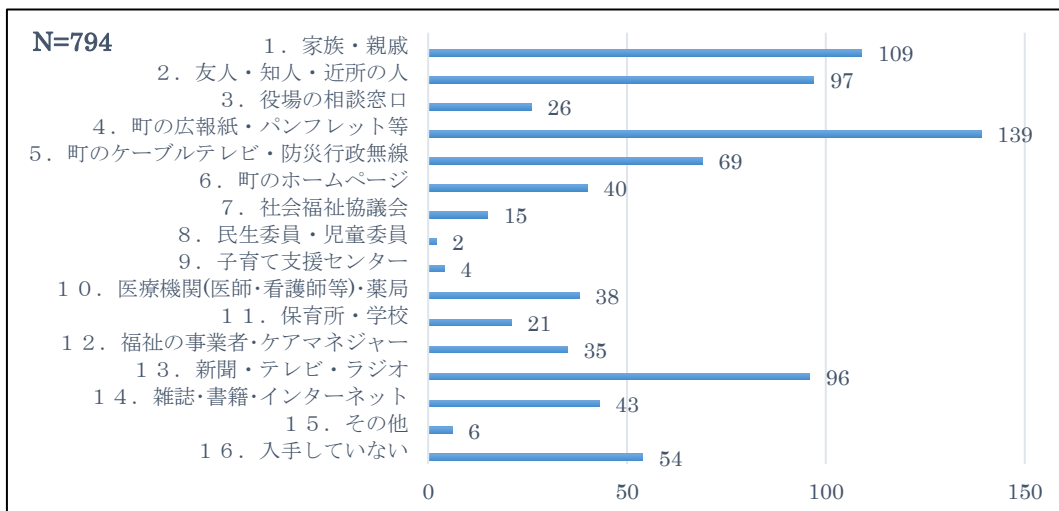
【問10】あなたは福祉(制度・サービス等)に関する情報をどこから得ていますか。(〇はいくつでも)

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1. 家族・親戚            | 2. 友人・知人・近所の人        |
| 3. 役場の相談窓口          | 4. 町の広報紙・パンフレット等     |
| 5. 町のケーブルテレビ・防災行政無線 | 6. 町のホームページ          |
| 7. 社会福祉協議会          | 8. 民生委員・児童委員         |
| 9. 子育て支援センター        | 10. 医療機関(医師・看護師等)・薬局 |
| 11. 保育所・学校          | 12. 福祉の事業者・ケアマネジャー   |
| 13. 新聞・テレビ・ラジオ      | 14. 雑誌・書籍・インターネット    |
| 15. その他( )          | 16. 入手していない          |

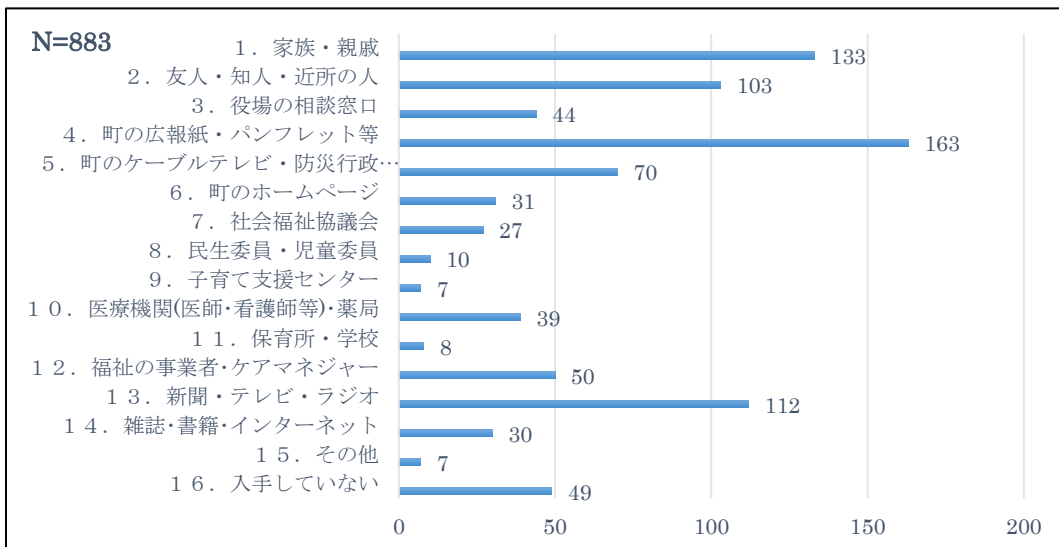
「町の広報紙・パンフレット等」が163(139)件と最も多く、次いで「家族・親戚」が133(109)件、「新聞・テレビ・ラジオ(家族・親戚)」112(97)件となっています。福祉に関する情報源として、「町の広報紙・パンフレット等」「町のケーブルテレビ・防災行政無線」「町のホームページ」「新聞・テレビ・ラジオ」「雑誌・書籍・インターネット」を合わせると46.0(48.7)%となっており、前回調査と同じく情報媒体の重要性が伺えます。

「その他」について、「職場」、「家族会」、「自治会」と記載がありました。

[平成29年度調査]



[令和元年度調査]



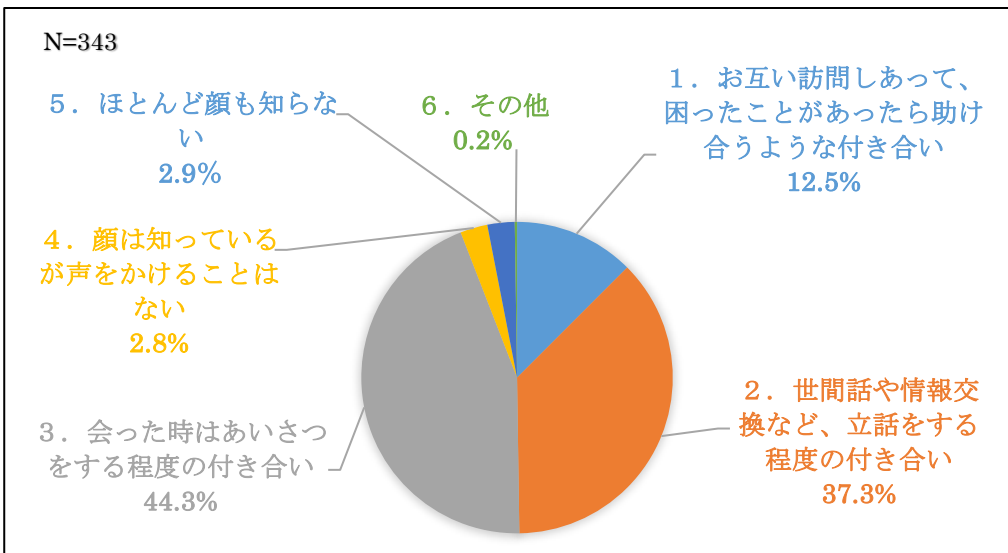
【問 1 1】 あなたの近所付き合いは、次のどれに近いですか。（○は1つだけ）

1. お互い訪問しあって、困ったことがあったら助け合うような付き合い
2. 世間話や情報交換など、立話をする程度の付き合い
3. 会った時はあいさつをする程度の付き合い
4. 顔は知っているが声をかけることはない
5. ほとんど顔も知らない
6. その他（ ）

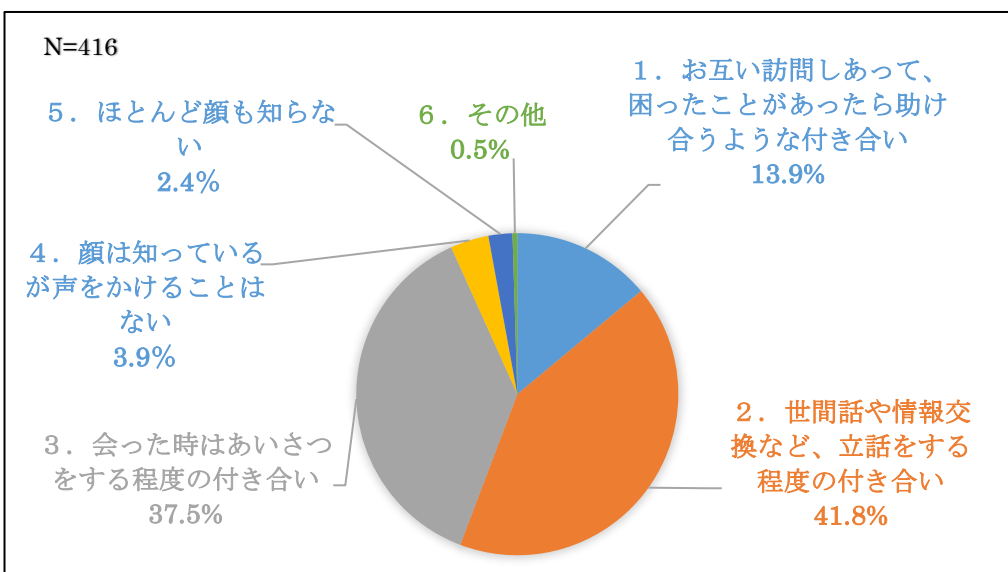
前回の調査と同じく「世間話や情報交換など、立話をする程度の付き合い（会った時はあいさつをする程度の付き合い）」の割合が41.8（44.3）%と最も高く、次いで「会った時はあいさつをする程度の付き合い（世間話や情報交換など、立話をする程度の付き合い）」の割合が37.5（37.3）%、「お互い訪問しあって、困ったことがあったら助け合うような付き合い」の割合が13.9（12.5）%となっており、9割の人がなんらかの近所付き合いをしていると答えています。

年齢別に見ると、年齢が高くなるにつれて、付き合いが深くなっているのが分かります。

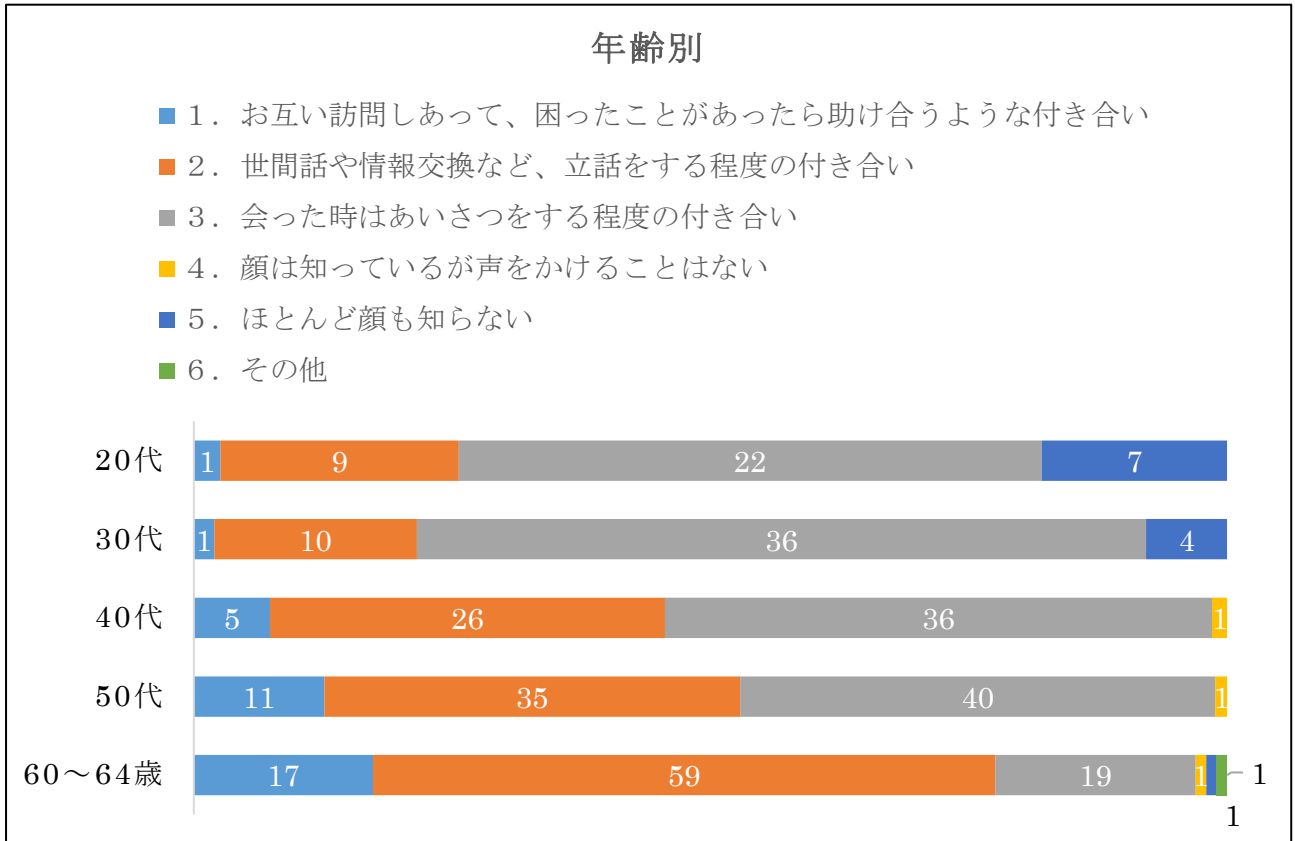
[平成29年度調査]



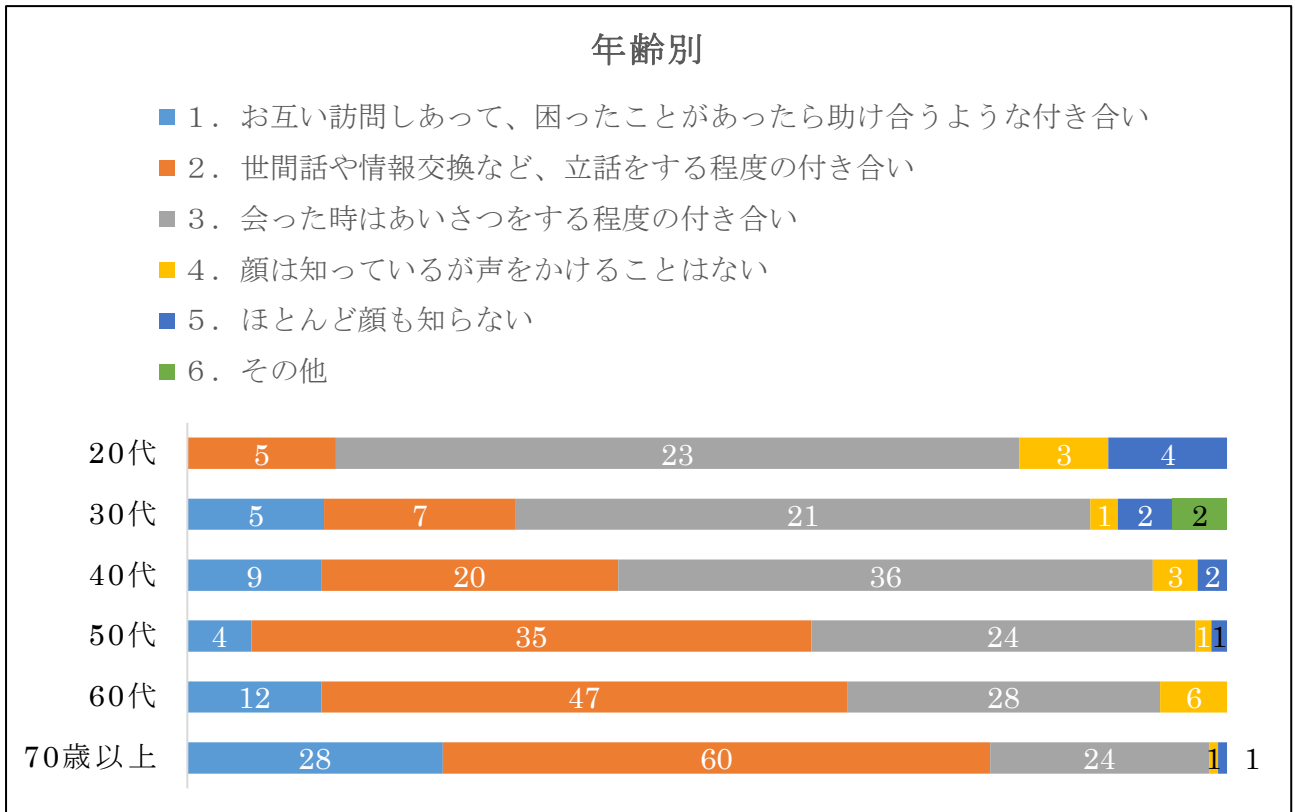
[令和元年度調査]



[平成29年度調査]



[令和元年度調査]



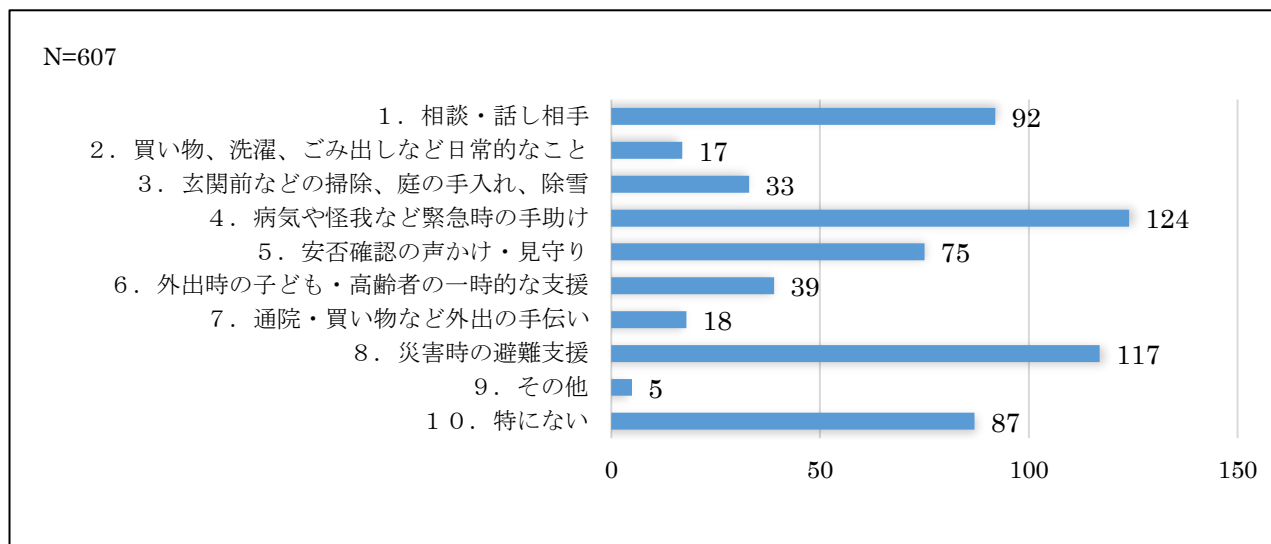
【問 1 2】あなたが困ったとき、隣近所の人に手助けしてもらおうとしたらどんなことをしてほしいですか。(〇はいくつでも)

- |                      |                        |
|----------------------|------------------------|
| 1. 相談・話し相手           | 2. 買い物、洗濯、ごみ出しなど日常的なこと |
| 3. 玄関前などの掃除、庭の手入れ、除雪 | 4. 病気や怪我など緊急時の手助け      |
| 5. 安否確認の声かけ・見守り      | 6. 外出時の子ども・高齢者の一時的な支援  |
| 7. 通院・買い物など外出の手伝い    | 8. 災害時の避難支援            |
| 9. その他               | 10. 特にない               |

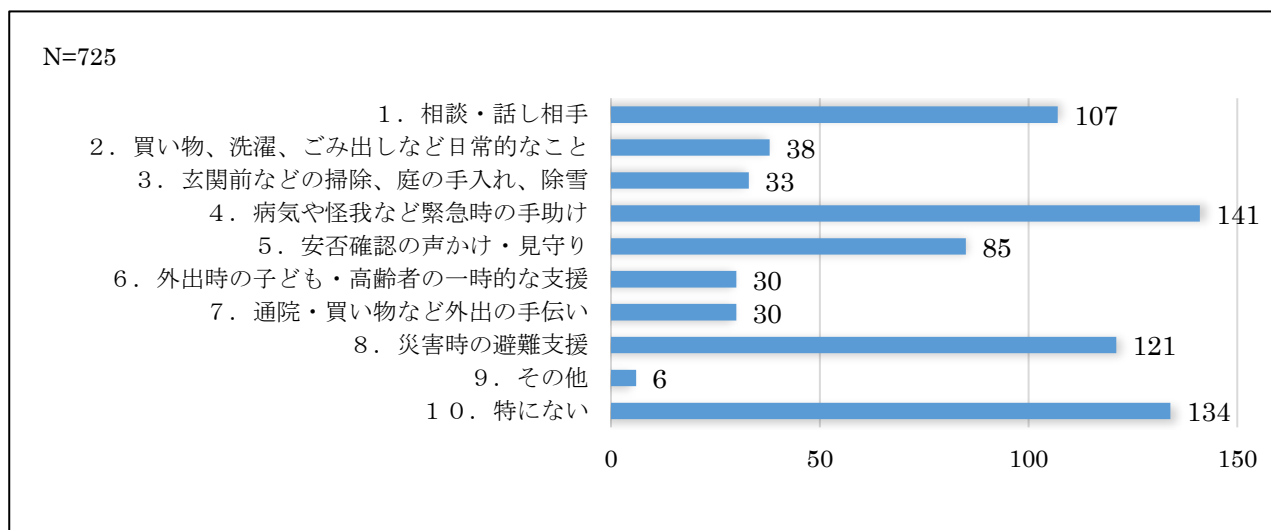
「病気や怪我など緊急時の手助け」の件数が141（124）件と最も多く、次いで「特にない（災害時の避難支援）」が134（117）件、「災害時の避難支援（相談・話し相手）」が121（92）件となっています。

「その他」は、「雪かき」「ゴミ出し」「家事」と記載がありました。

[平成29年度調査]



[令和元年度調査]



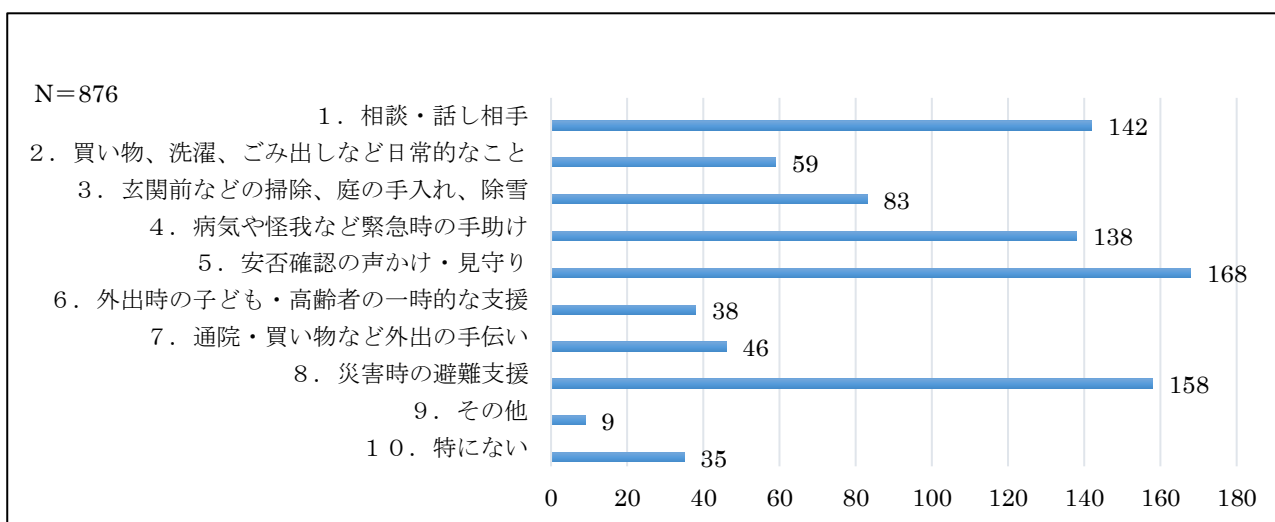
【問13】隣近所で困っている世帯があった場合、あなたができることは何ですか。(〇はいくつでも)

- |                      |                        |
|----------------------|------------------------|
| 1. 相談・話し相手           | 2. 買い物、洗濯、ごみ出しなど日常的なこと |
| 3. 玄関前などの掃除、庭の手入れ、除雪 | 4. 病気や怪我など緊急時の手助け      |
| 5. 安否確認の声かけ・見守り      | 6. 外出時の子ども・高齢者の一時的な支援  |
| 7. 通院・買い物など外出の手伝い    | 8. 災害時の避難支援            |
| 9. その他 ( )           | 10. 特にない               |

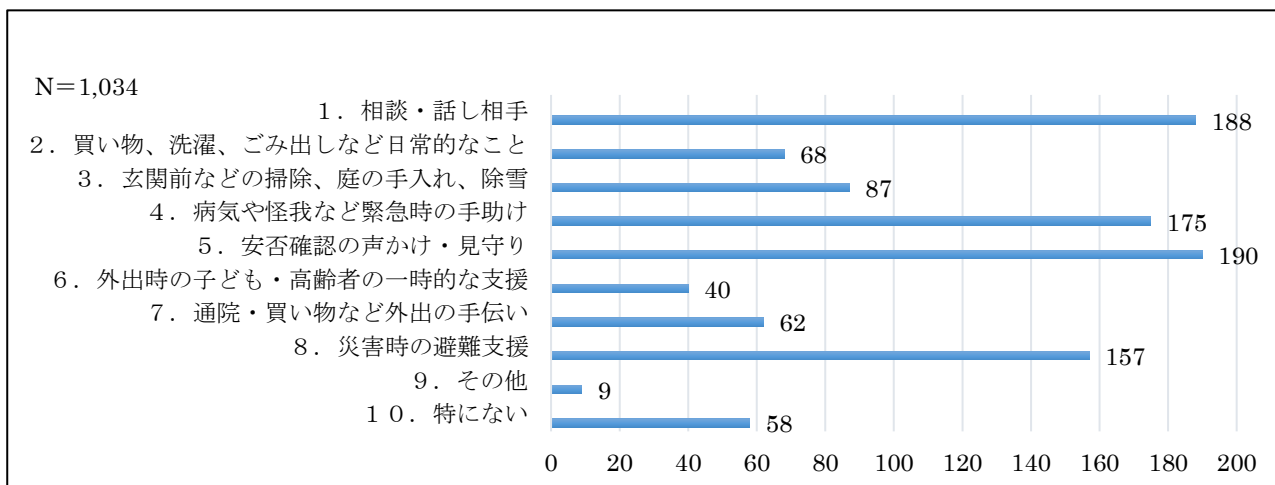
「安否確認の声かけ・見守り」が190(168)件と最も多く、次いで「相談・話し相手(災害時の避難支援)」が188(158)件、「病気や怪我など緊急時の手助け(相談・話し相手)」で175(142)件となっています。

「その他」には、「相手の方から声がかかればできることは手助けしてあげたい」「頼まれれば何でも」と記載がありました。

[平成29年度調査]



[令和元年度調査]

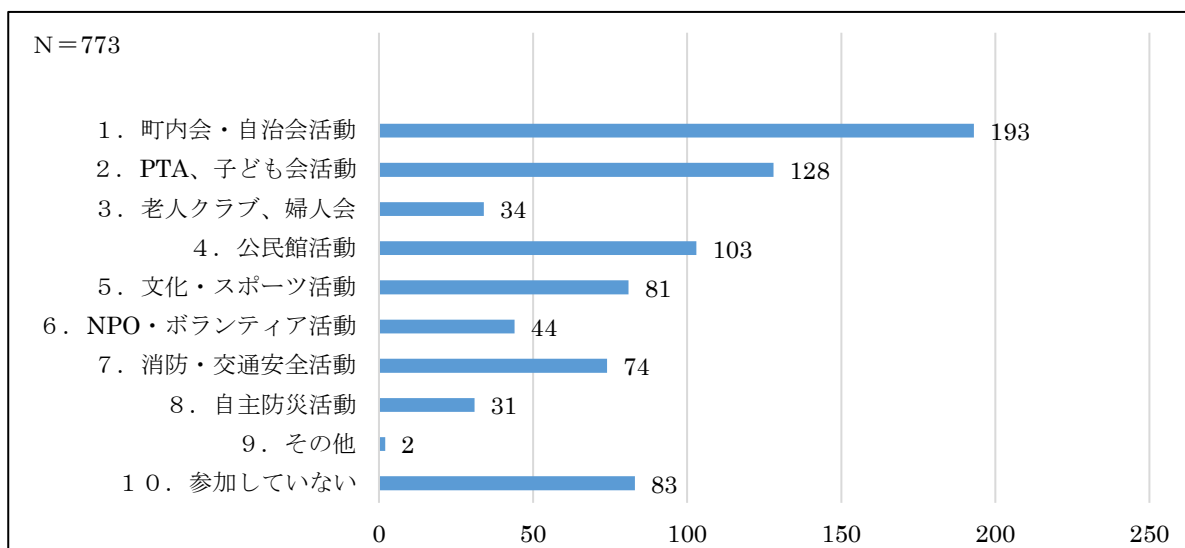


【問14】あなたはどのような地域活動に参加したことがありますか。(〇はいくつでも)

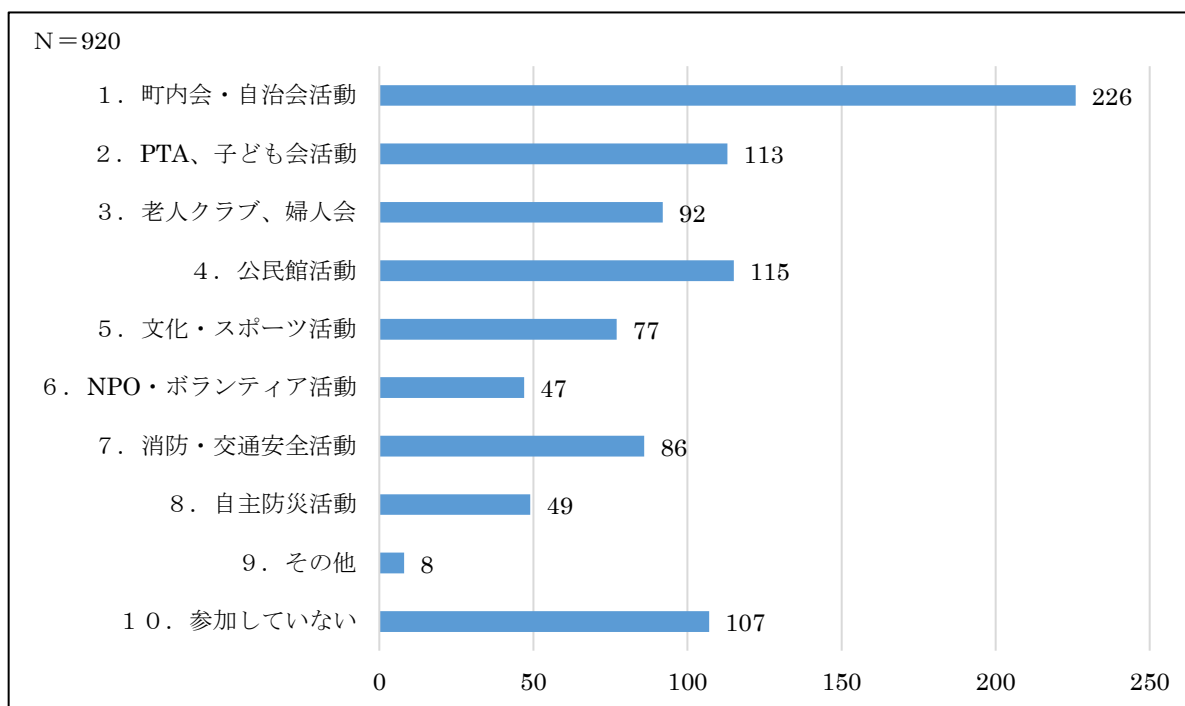
- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| 1. 町内会・自治会活動 | 2. PTA、子ども会活動   |
| 3. 老人クラブ、婦人会 | 4. 公民館活動        |
| 5. 文化・スポーツ活動 | 6. NPO・ボランティア活動 |
| 7. 消防・交通安全活動 | 8. 自主防災活動       |
| 9. その他 ( )   | 10. 参加していない     |

「町内会・自治会活動」が226(193)件と最も多く、次いで「公民館活動(PTA、子ども会活動)」が115(128)件、「PTA、子ども会活動(公民館活動)」が113(103)件でした。「その他」は、「サロン」、「町道の草刈り」の記載がありました。

【平成29年度調査】



【令和元年度調査】





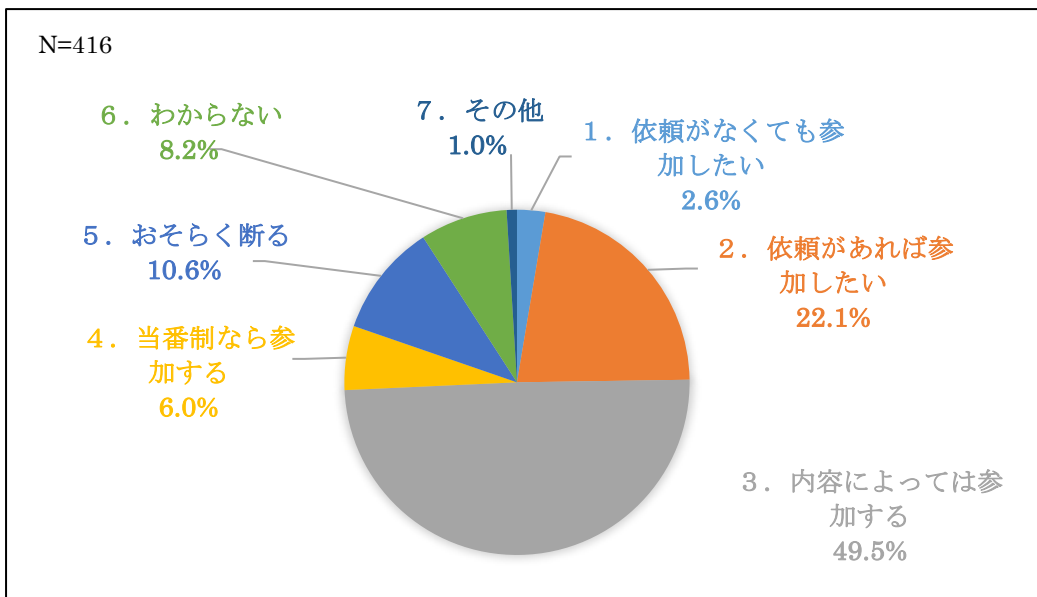
【問 1 5】あなたは地域活動（自治会、地域の清掃活動など）への参加依頼があった場合どうしますか。（○は1つだけ）

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. 依頼がなくても参加したい | 2. 依頼があれば参加したい |
| 3. 内容によっては参加する  | 4. 当番制なら参加する   |
| 5. おそらく断る       | 6. わからない       |
| 7. その他（ ）       |                |

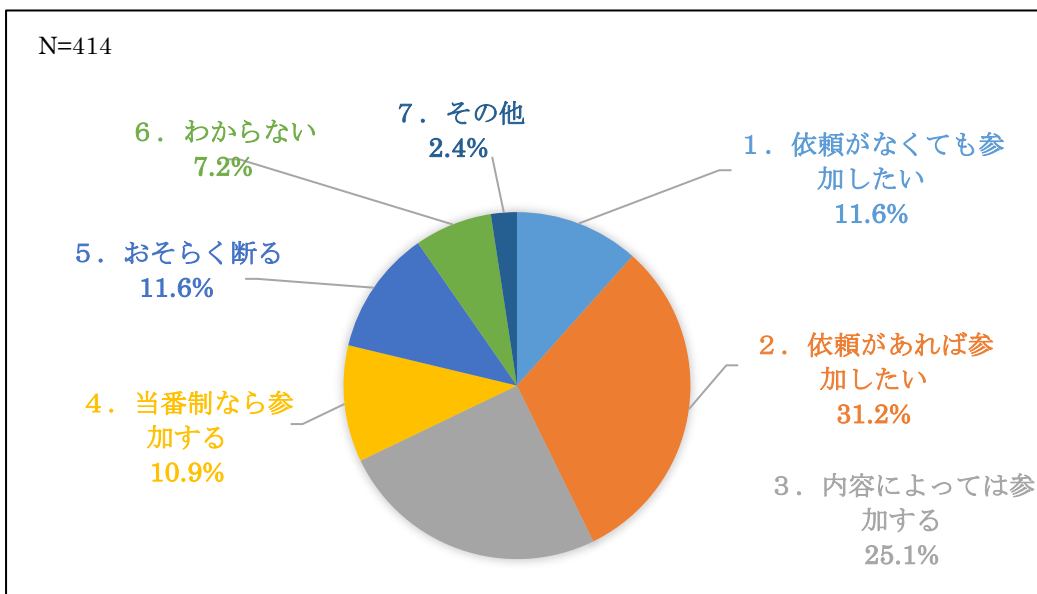
「依頼があれば参加したい（内容によっては参加する）」の割合が31.2（49.5）%と最も高く、次いで「内容によっては参加する（依頼があれば参加したい）」が25.1（22.1）%、「依頼がなくても参加したい、おそらく断る（おそらく断る）」が11.6（10.6）%となっています。

「その他」には、「仕事で参加できない」「高齢のため参加できない」などの記載がありました。

【平成29年度調査】



【令和元年度調査】



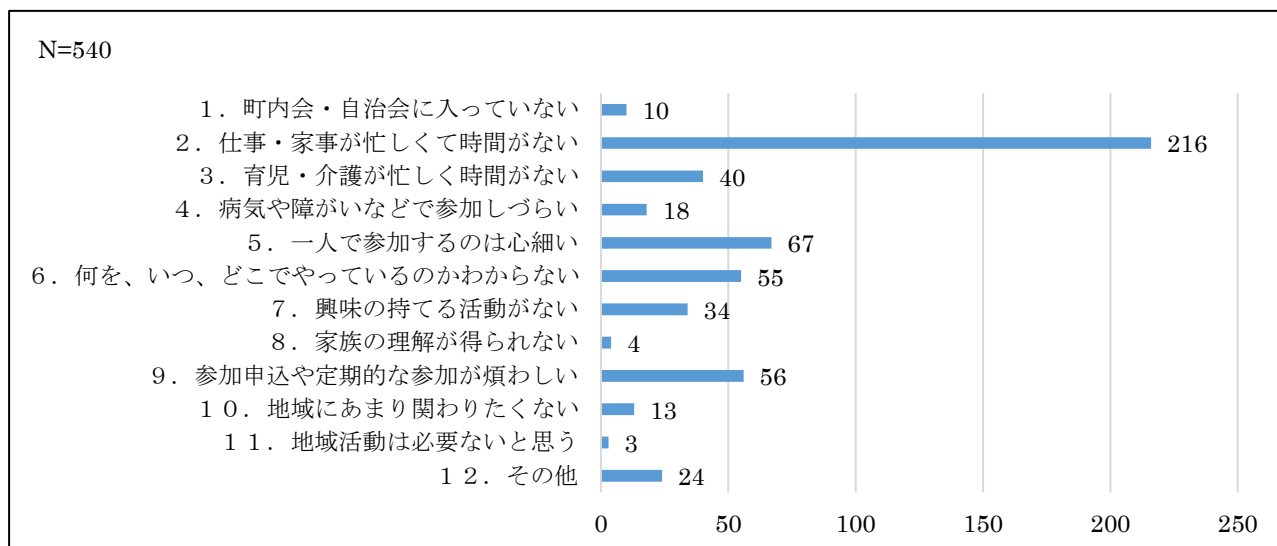
【問16】地域活動への参加に支障になることは何ですか。(〇は3つまで)

- |                     |                          |
|---------------------|--------------------------|
| 1. 町内会・自治会に入っていない   | 2. 仕事・家事が忙しくて時間がない       |
| 3. 育児・介護が忙しく時間がない   | 4. 病気や障がいなどで参加しづらい       |
| 5. 一人で参加するのは心細い     | 6. 何を、いつ、どこでやっているのかわからない |
| 7. 興味の持てる活動がない      | 8. 家族の理解が得られない           |
| 9. 参加申込や定期的な参加が煩わしい | 10. 地域にあまり関わりたくない        |
| 11. 地域活動は必要ないと思う    | 12. その他 ( )              |

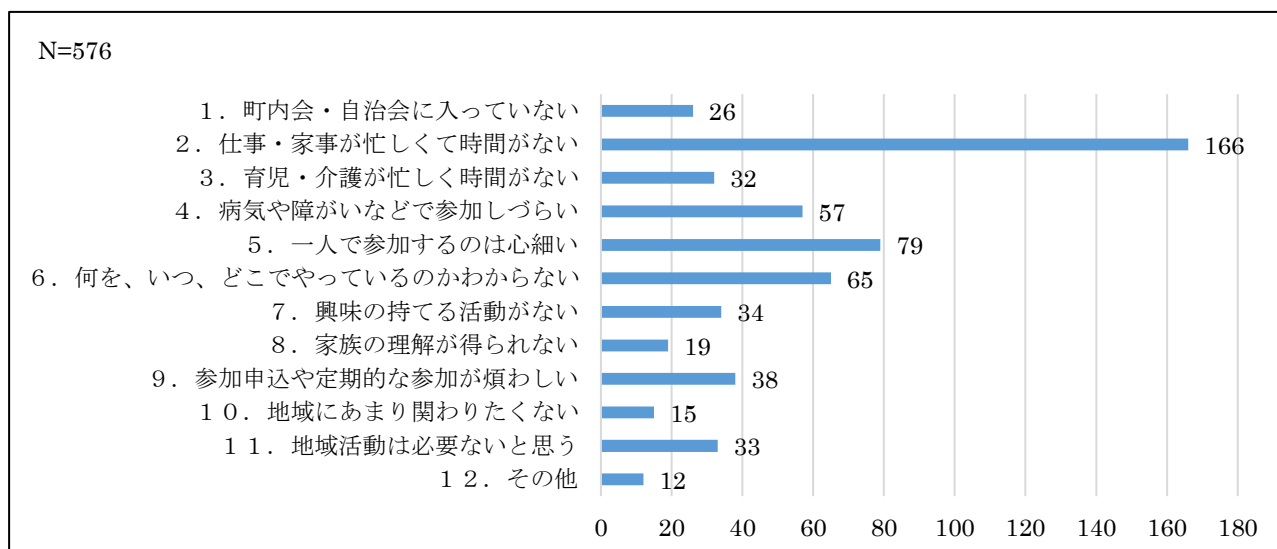
「仕事・家事が忙しくて時間がない」が166（216）件と最も多く、次いで「一人で参加するのは心細い」が79（67）件、「何を、いつ、どこでやっているのかわからない（参加申込や定期的な参加が煩わしい）」65（56）件となっています。

「その他」として、「日曜が仕事なので休日のみ参加」「会合や集会を土曜に行う事」「土曜日も仕事の人がいるのに当たり前のように休日と考えて会合等の日時を決定する事」「年齢に制限、参加したいが体力的にできない」などの記載がありました。

[平成29年度調査]



[令和元年度調査]



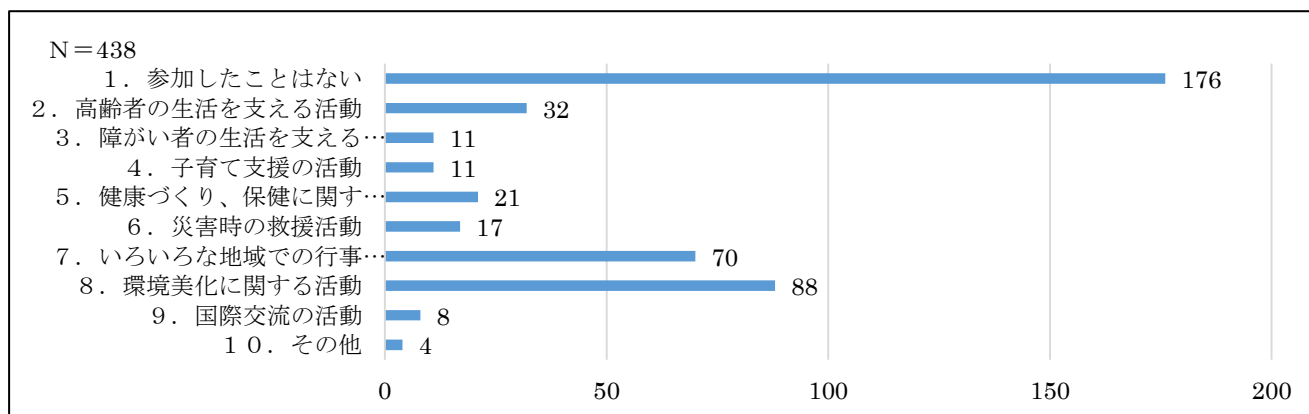
【問17】今までにどのようなNPO・ボランティア活動に参加したことがありますか。  
(〇はいくつでも)

1. 参加したことはない
2. 高齢者の生活を支える活動（見守り、クラブ活動への協力、老人施設等への訪問など）
3. 障がい者の生活を支える活動（手話や音読による支援、外出支援、施設訪問など）
4. 子育て支援の活動（託児、子育て相談、子育てサークル支援など）
5. 健康づくり、保健に関する活動（健康教室等の支援、献血ボランティアの活動など）
6. 災害時の救援活動
7. いろいろな地域での行事のお手伝い
8. 環境美化に関する活動（美化活動・リサイクル活動など）
9. 国際交流の活動
10. その他（ ）

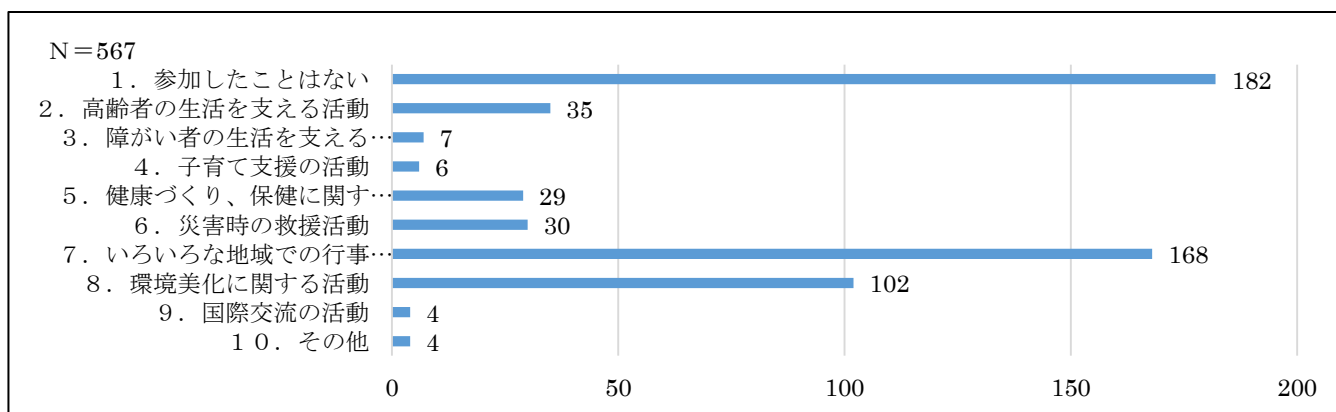
「参加したことはない」が182（176）件と最も多く、次いで「いろいろな地域での行事のお手伝い（環境美化に関する活動）」168（88）件、「環境美化に関する活動（いろいろな地域での行事のお手伝い）」102（70）件となっています。

「その他」として、「独居の方へのお弁当作り」「婦人会の活動」などの記載がありました。

[平成29年度調査]



[令和元年度調査]



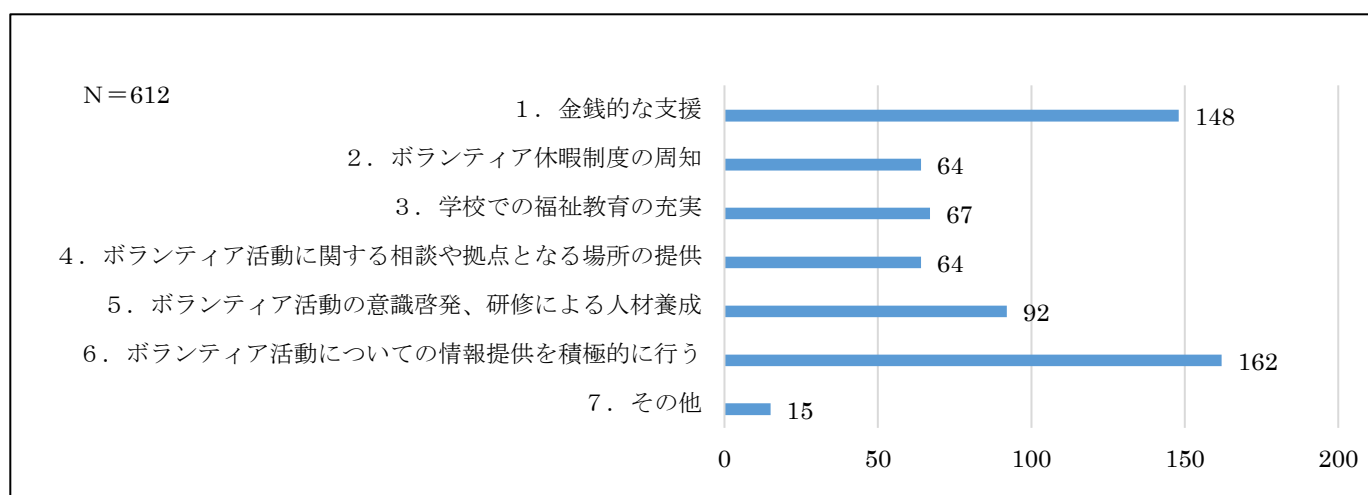
【問18】NPO・ボランティア活動が活性化するためには、町はどのようなことに取り組む必要があると思いますか。(〇は3つまで)

1. 金銭的な支援
2. ボランティア休暇制度の周知
3. 学校での福祉教育の充実
4. ボランティア活動に関する相談や拠点となる場所の提供
5. ボランティア活動の意識啓発、研修による人材養成
6. ボランティア活動についての情報提供を積極的に行う
7. その他 ( )

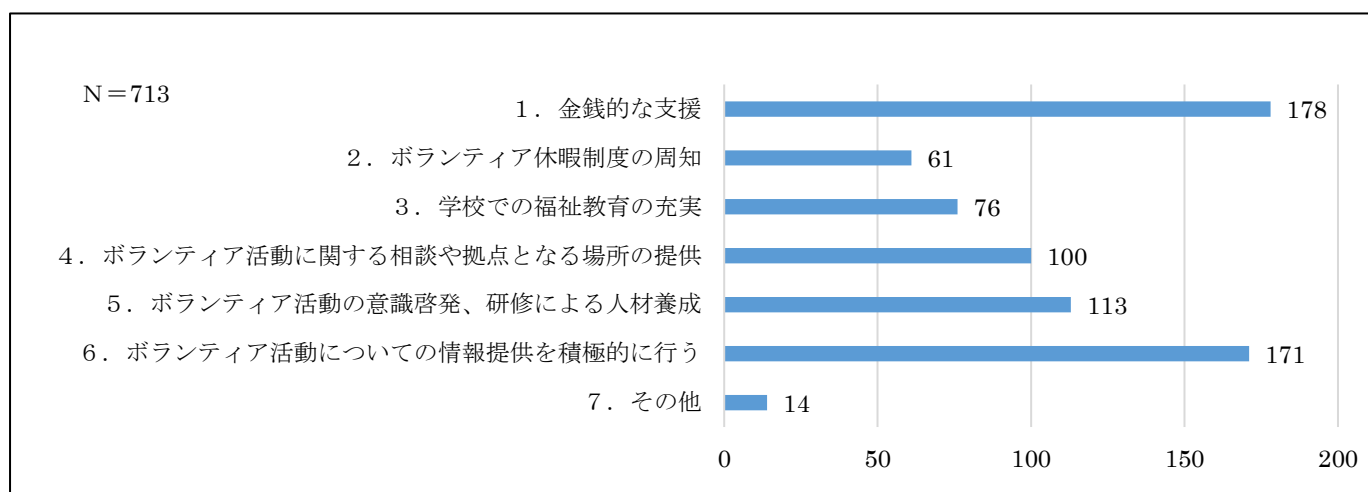
前回調査と同じく「金銭的な支援（ボランティア活動についての情報提供を積極的に行う）」が178（162）件と最も多く、次いで「ボランティア活動についての情報提供を積極的に行う（金銭的な支援）」が171（148）件、「ボランティア活動の意識啓発、研修による人材養成」が113（92）件となっています。

「その他」として、「実際に行っているものをケーブルテレビで放映」「無線をもっと活用した方がよい」などの記載がありました。

[平成29年度調査]



[令和元年度調査]

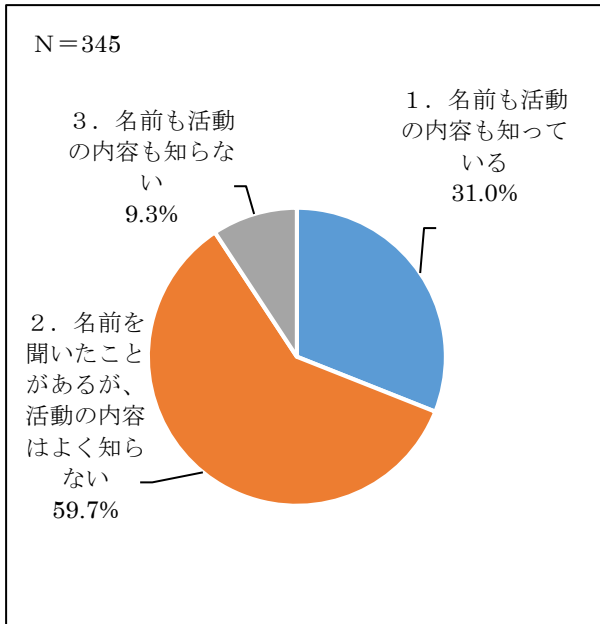


【問 1 9】あなたは、「岩美町社会福祉協議会」を知っていますか。(○は1つだけ)

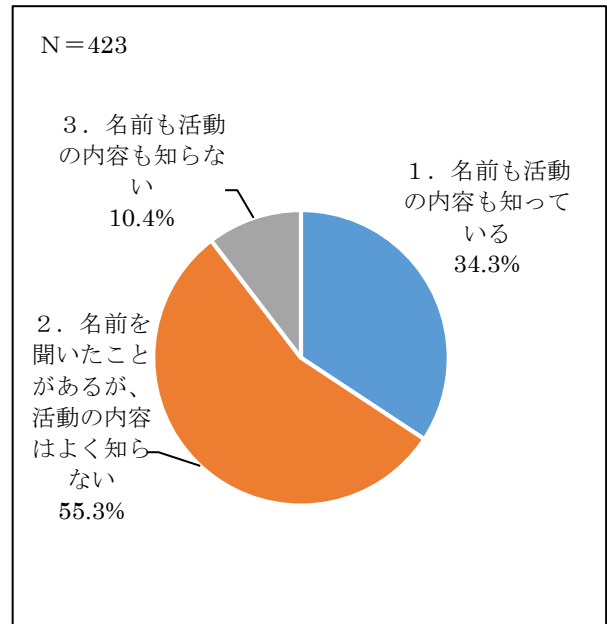
1. 名前も活動の内容も知っている
2. 名前を聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない
3. 名前も活動の内容も知らない

「名前も活動の内容も知っている」が34.3(31.0)%でした。

[平成29年度調査]



[令和元年度調査]

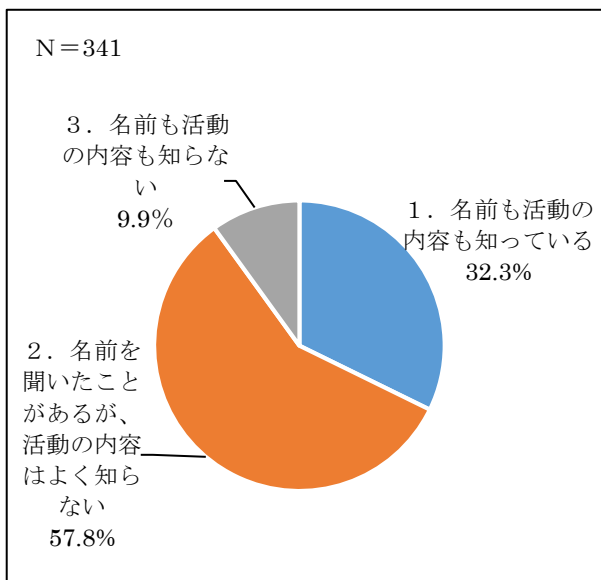


【問 2 0】あなたは、「民生委員・児童委員」を知っていますか。(○は1つだけ)

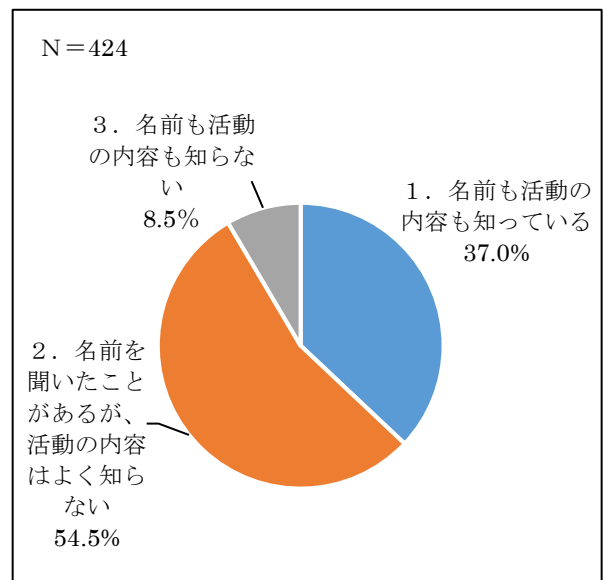
1. 名前も活動の内容も知っている
2. 名前を聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない
3. 名前も活動の内容も知らない

「名前も活動の内容もよく知っている」が37.0(32.3)%でした。

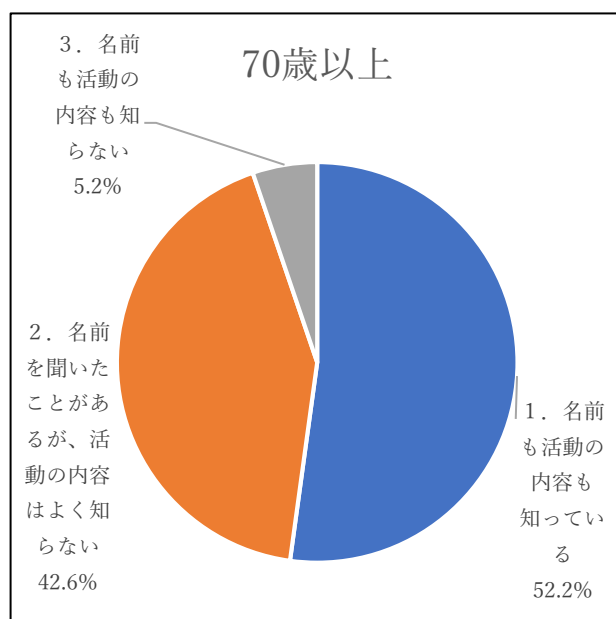
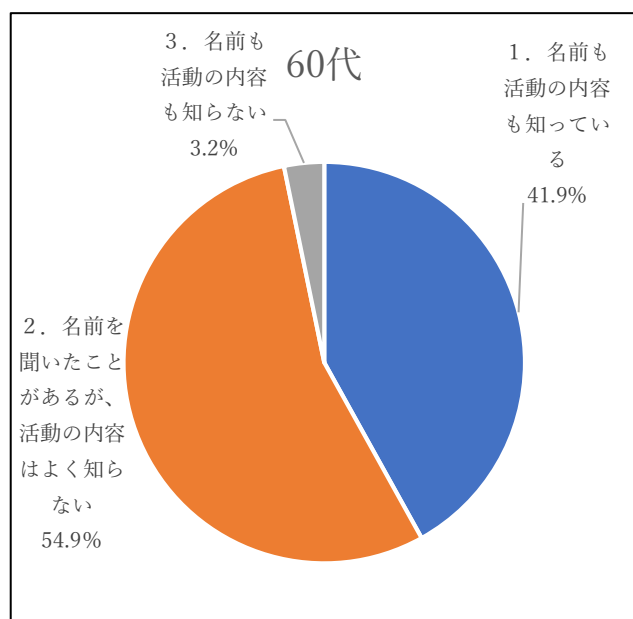
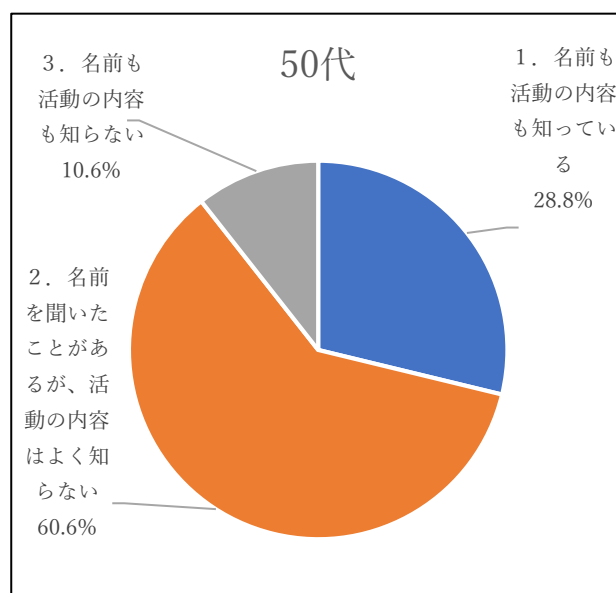
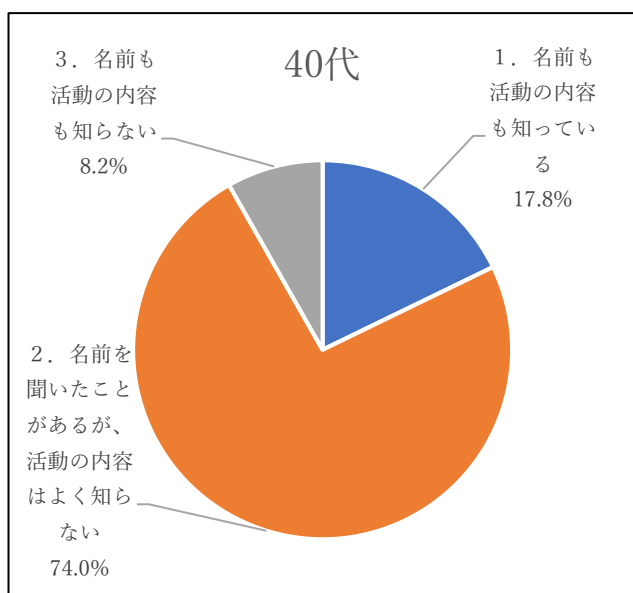
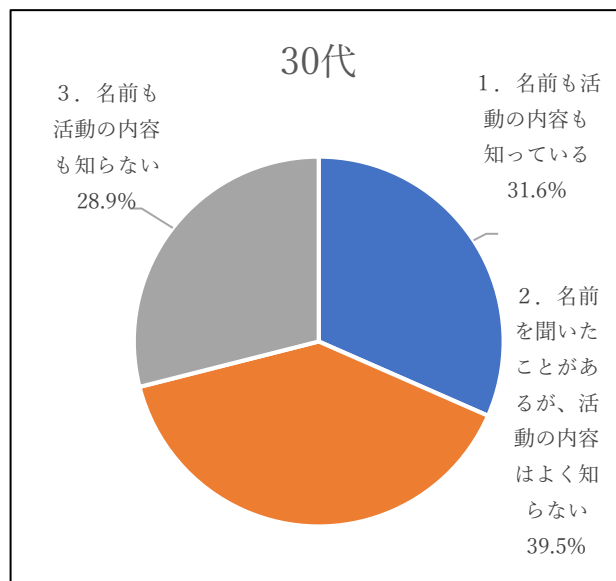
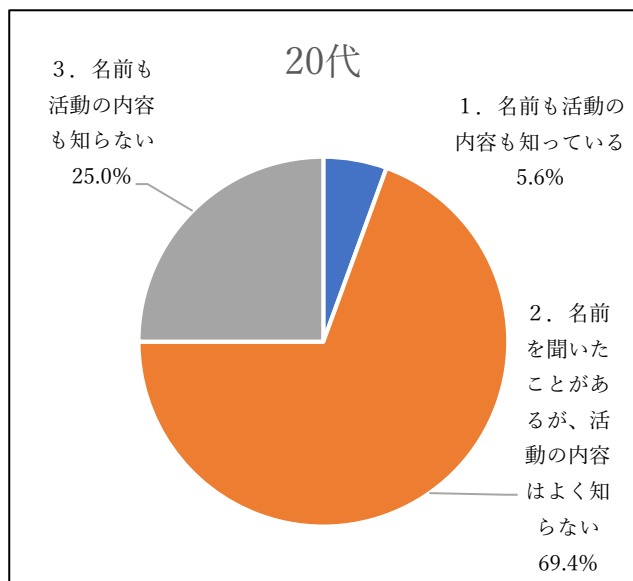
[平成29年度調査]



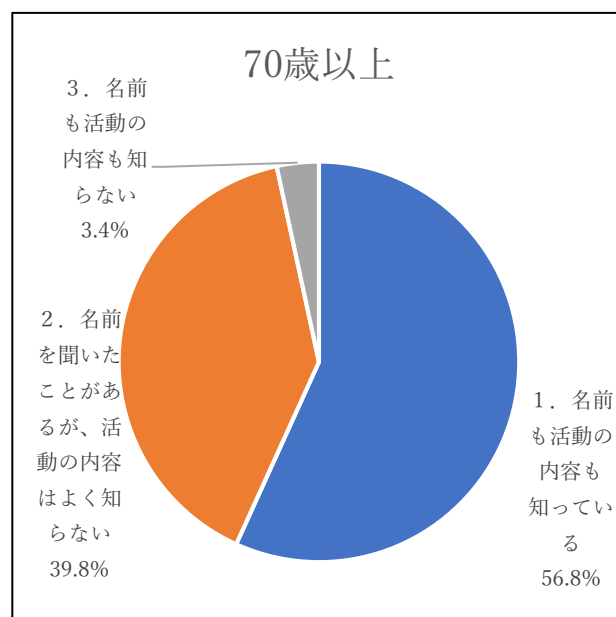
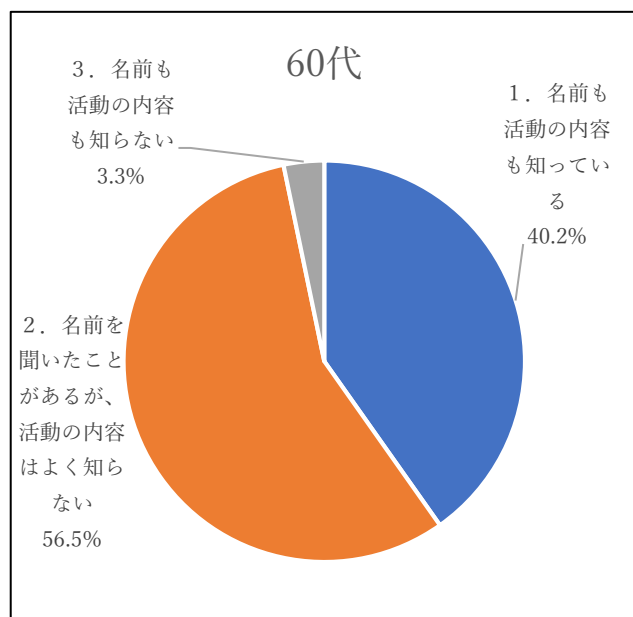
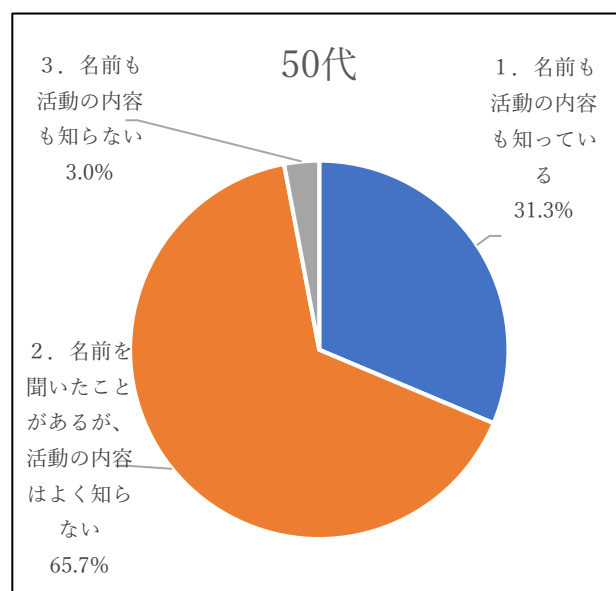
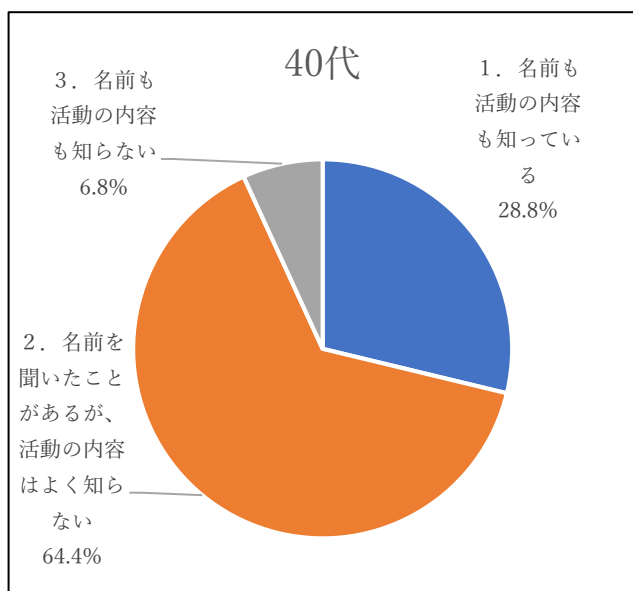
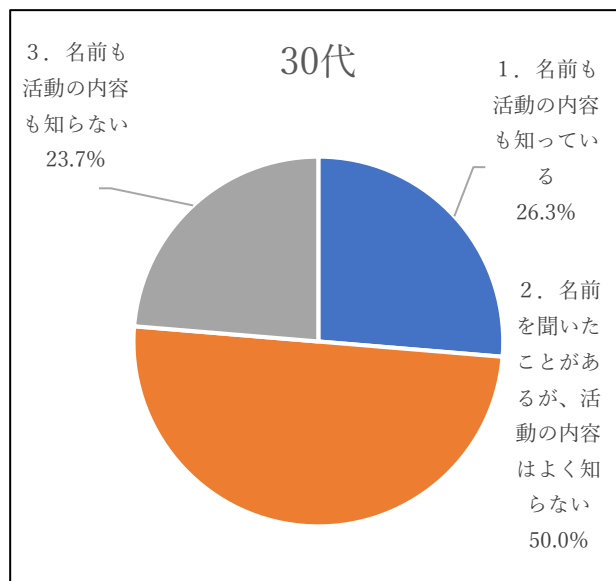
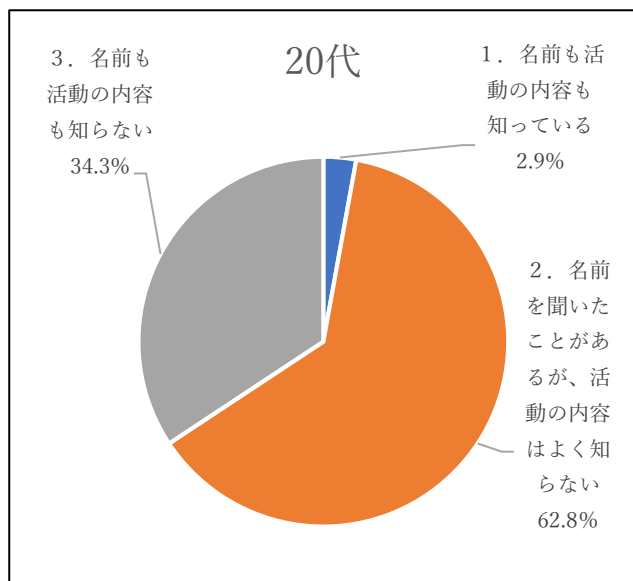
[令和元年度調査]



【問 1 9】あなたは、「岩美町社会福祉協議会」を知っていますか。(年代別)



【問20】あなたは、「民生委員・児童委員」を知っていますか。(年代別)



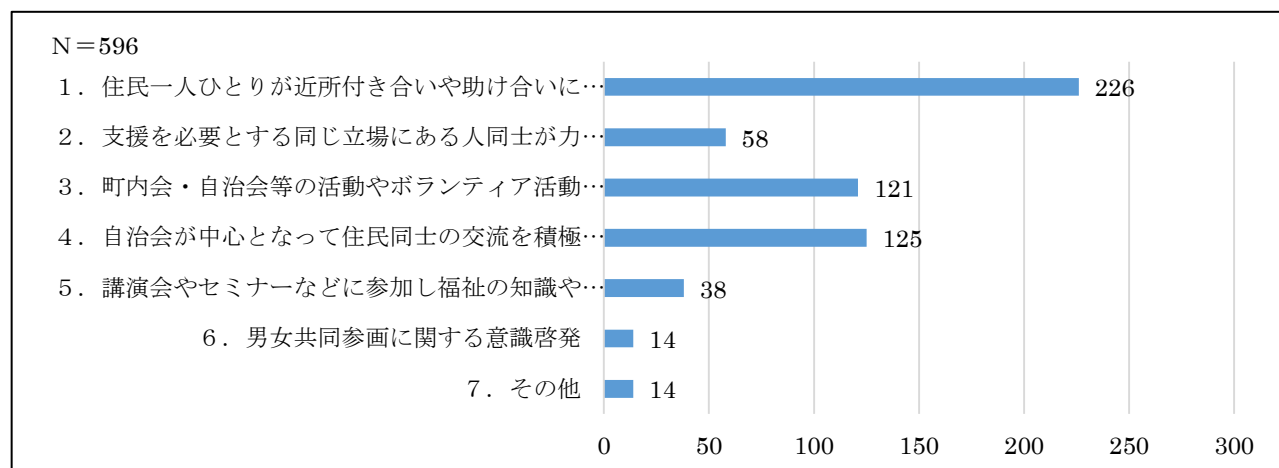
【問 2 1】住民同士がともに支え合う地域づくりを進めるために、住民はどのようなことを行うべきだと思いますか。(〇は3つまで)

1. 住民一人ひとりが近所付き合いや助け合いに努める
2. 支援を必要とする同じ立場にある人同士が力を合わせる
3. 町内会・自治会等の活動やボランティア活動へ積極的に参加すること
4. 自治会が中心となって住民同士の交流を積極的に進めること
5. 講演会やセミナーなどに参加し福祉の知識や技術を学ぶこと
6. 男女共同参画に関する意識啓発
7. その他 ( )

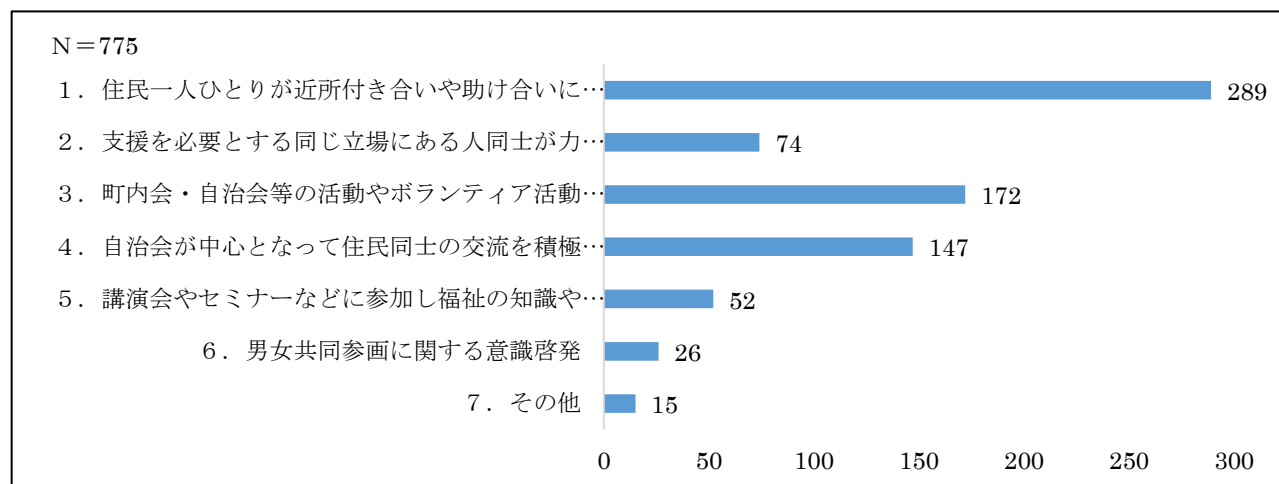
「住民一人ひとりが近所付き合いや助け合いに努める」が289(226)件と最も多く、次いで「町内会・自治会等の活動やボランティア活動へ積極的に参加すること(自治会が中心となって住民同士の交流を積極的に進めること)」が172(125)件、「自治会が中心となって住民同士の交流を積極的に進めること(町内会・自治会等の活動やボランティア活動へ積極的に参加すること)」が147(121)件となっています。

「その他」には、「1人1人が気を配る」「若い担い手育成するもしくはLOT(ものをインターネットでつなぐ)方法に切り替えていく」「積極的に参加しない住人の意識改革を行うべき」などの記載がありました。

【平成29年度調査】



【令和元年度調査】







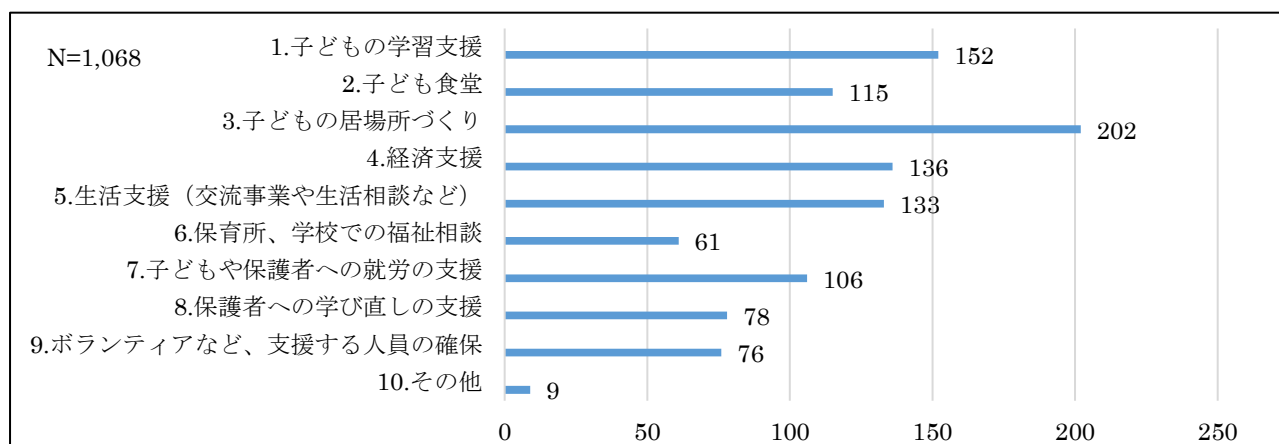
【問23】「子どもの貧困」をなくし、子どもの明るい未来を支援するためには、どのような仕組みや制度が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- |                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 子どもの学習支援           | 2. 子ども食堂        |
| 3. 子どもの居場所づくり         | 4. 経済支援         |
| 5. 生活支援（交流事業や生活相談など）  | 6. 保育所、学校での福祉相談 |
| 7. 子どもや保護者への就労の支援     | 8. 保護者への学び直しの支援 |
| 9. ボランティアなど、支援する人員の確保 |                 |
| 10. その他（              | ）               |

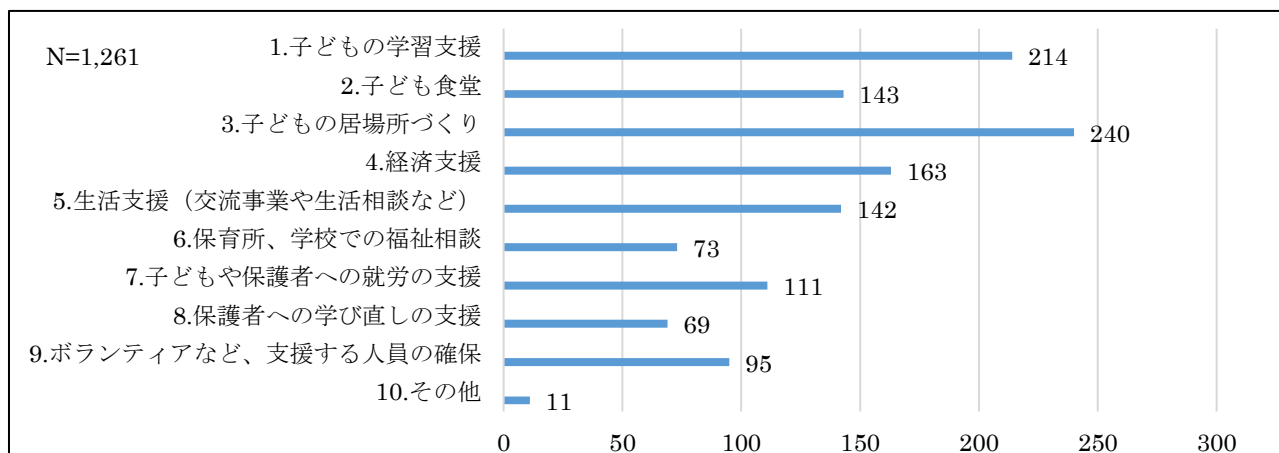
「子どもの居場所づくり」が240（202）件と最も多く、次いで、「子どもの学習支援」が214（152）件、「経済支援」が163（136）件でした。

「その他」として、「保護者の考え方が大切」「給料等分配率の変更（貧富格差の解消、消費税より物品税の復活）」「教育も受けられる養護施設」「親としての自覚が必要」などの記載がありました。

[平成29年度調査]



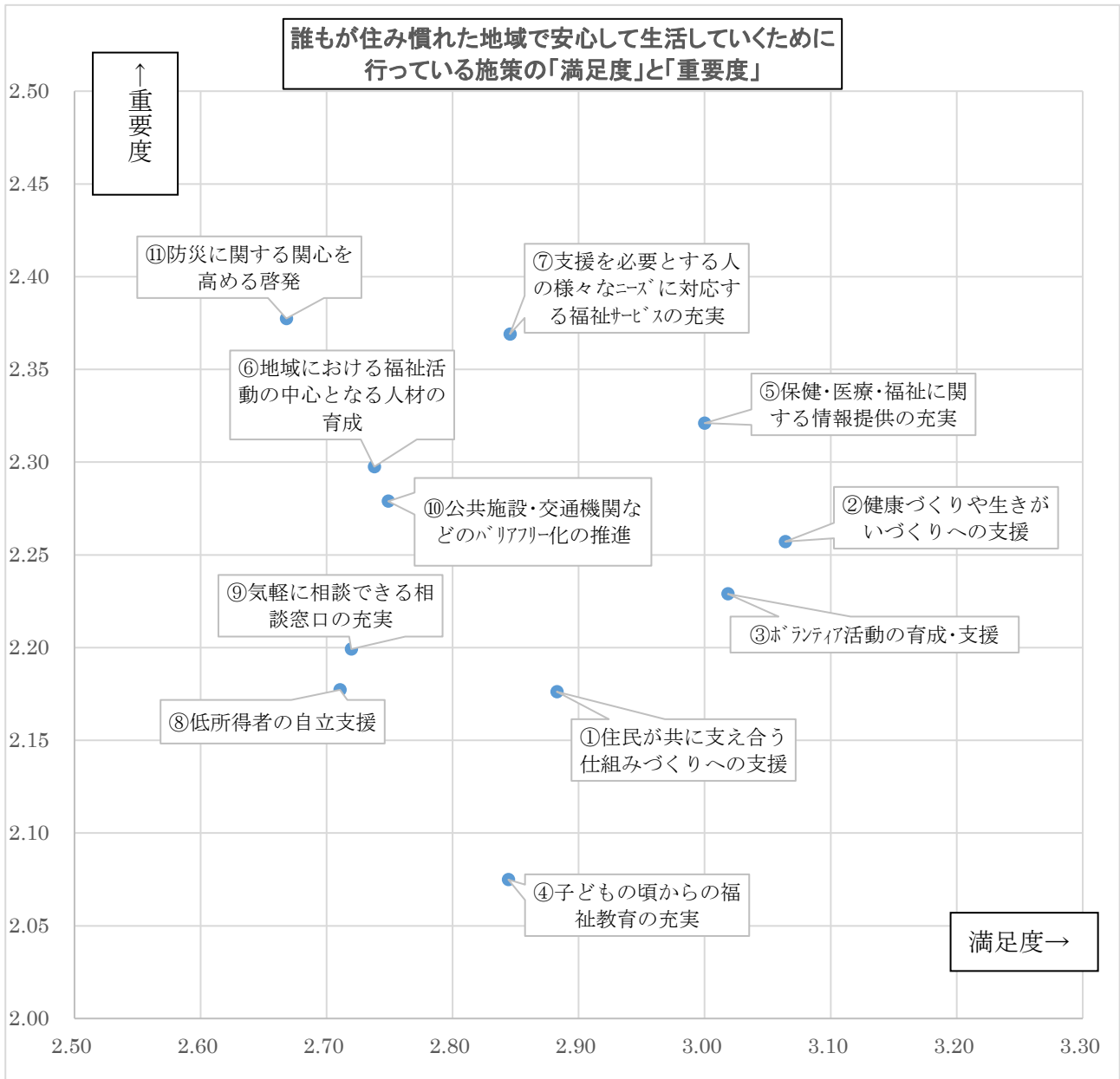
[令和元年度調査]



【問 2 4】誰もが住み慣れた地域で安心して生活していくために行っている施策の「満足度」と「重要度」についてお答えください。

[令和元年度調査]

(3.00満点)



(5.00満点)

満足度と重要度が共に高い「保健・医療・福祉に関する情報提供の充実」「健康づくりや生きがいづくりへの支援」は、維持していく必要があります。また、「防災に関する関心を高める啓発」「地域における福祉活動の中心となる人材の育成」は、重要度が高いにも関わらず満足度は低く優先的に取り組んでいく必要があります。

## ◆ ◆ アンケート記載欄 ◆ ◆

※個人が特定されるような記載については、一部編集しています。

### ◎自由意見欄

#### 【福祉一般】

- 福祉とは、一概に大きすぎて言えない。私事で言えば高齢者に関してしか申せません。福祉活動に参加出来る人は、体が元気で自分の先々を真剣に考えておられる人々でしょう。が、体力、気力がなくなると出かけたがらなく閉じこもってしまうのではないかと？他人が気付かなく、現在の近所付き合いではとても計り知れない。公共が豊かな財力が必要ではないか？
- 福祉関係が今の時代は大きな問題項目でないでしょうか。この件に対しては関わる人間、環境等が、絶対に不可欠ですので、私等、高齢者も自分の事にイコールに成るので意識を持って取り組んでいくべきかと考えます。
- 各施策が広範囲の為評価に苦勞する、分からなくなる。高齢の為回答に困る。注意。
- 福祉とは？と言われてすぐに答えられない私があります。中々難しく奥が深いワードです。ただ自分に出来ることは、積極的に参加して活動することが福祉につながれば、いいのかなと感じます。
- この様な事を聞かれても今迄何一つも行われて来た事が無いので、これからも何も変わらないと思う。
- あまりにも項目が多く、煩わしさもあってチェックすることが大変。
- 福祉、支援を自分自身が受けてないし、自分で何とかできるので福祉の事などよくわからない。
- 岩美町は人数が少ないのに福祉はしっかりとしていると思います。私ももう少し若ければ、又車の運転が出来れば、おおいに旅行や子供会等に参加したいと思っていました。以前は幼稚園に勤めていましたので、幼い子供を見ると年齢的に涙の出る思いで愛しく手助けをしたいと思うばかり。今日、岩美の老人会には必ず参加したいと思っています。福祉の方にもいつもお世話になり感謝しています。ありがとうございます。
- 住民同士の助け合いが出来環境作りが大切な事だと思います。その上で、近所付き合いは安心して暮らしていくためには必要な事だと日々感じています。
- 行政が福祉にどう関わればいいのか正直わかりません。自分が子供の頃に比べたらずいぶん良い世の中になっていると思います。福祉の弱者にも光を当てようと頑張っておられる方々には本当に頭が下がります。しかし、それにはコストがかかり、子供の頃に比べお金の巡りが悪いようにも思います。福祉にたずさわる方の生きがいをもっと向上するような世の中になればいいと思います。
- 取りあえず、普段から隣近所の付き合いを密にする事が一番だと思います。たまには役場の方も区長などに会ってどのくらいコミュニケーションが取れているか確認するのも良いと思います。普段から密にしておけば防災にも役に立つと思います。
- 自分と関わりのある部分については知っている事もあるが、関わり無い分野については知識も少ないと改めて振り返りました。

#### 【行政】

- 地域で話し合いが十分できる関係を作る事。情報が秘密にされすぎ（個人情報など言われ）地域内の生活環境が悪くて隣り何をする人？で良い関係が作れない。行政関係の人はしっかりリーダーシップを取って下さい。

- 福祉に携わる方々の人選を今一度見直してほしい。
- 地域で福祉に関する啓発がもっとあってもよい。

### 【情報】

- 住民への周知不足を考える。住民もその立場になって考える、相談するのが現状かも。普段からいかに住民関心を持ってもらうかが、問題では。どのようにするのは・・・
- 何をしているのか、されているのかさっぱり分からない。もっともっと情報をください。こういう制度があるのかももっとアピールして欲しい。今の時代必要な場所だと思う。
- 一人暮らしの世帯に情報を提供して頂きたい。
- 子育て世代の様々な医療・福祉サービス、助かっています。予防接種の助成についてですが、妊娠を望む場合、風疹の予防接種が無料で受けれて助かりました。知らない人、うっかり忘れてる人もいると思うので、医療機関などで掲示するなど情報の『見える化』をお願いしたいです。（その他のサービスしかり）今だと自分から役場へ行かないと該当するか分からないので、子育てや仕事で忙しかったりすると見過ごしてしまいそう。
- 情報取りが一方です。守秘義務のうち、縦だけの情報が横に横に広がる手段が必要です。共有する事柄があると思います。最終は近所の付き合いに寄る所が大ですが。
- 自分の部落の民生委員が誰だかわからない。活動しているのも見たことも聞いたこともない。

### 【ワーク・ライフ・バランス】

- 仕事と福祉（介護や育児）の両立について相談や負担軽減となるよう支援があればうれしいです。

### 【災害】

- 介護が必要な家族の災害時の対処方法が不安です。

### 【貧困】

- 貧困というものがピンとこない。自分が孫の時は必死でした。今の親（我が子）も必死で働いています。手に職を付け好きな職に就けて頑張っています、孫もそれなりに頑張っています。でも今の親も子も大変だと感じています。やはり近所づき合いが大事と感じています。（若い子は不用と思ってますね。）
- 岩美町は住みよい町だと思います。低所得という衣により、町等より恩恵を受け一生懸命働いている人よりも裕福に暮らしていらっしゃる方 e t c 少し不平等を感じることもあります。

### 【岩美病院について】

- 岩美病院の充実、継続、存続

### 【障がい】

- 障がいに対しての差別的な事が多い。また災害になった時、障がいの施設等どこに避難したらいいのかそういう場所が知らされていない。自治会のみ訓練のみで地域の中の訓練が忘れられている。包括支援センターの取組み行われている事はとても良いと思っています。福祉に偏った部分がある。
- 周りの人に自分の病気で集まり等出れない事を把握してもらえるか分からない。一般人（健康な人）の精神障がいがどこまで理解されているのか。

### 【高齢者、介護】

- 老老介護が多いと思います。いくら仲が良くても介護の深い所まで近所の方には話すことが出来ません。専門的な知識の方へのかしこまった相談ではなく、体を動かす会のついでに相談コーナーの時間を設けるといったように、気軽にたくさんの方と話が出来る場があれば良いと思う。それには事前の周知、CATVでの案内が効果的ではないでしょうか。
- 地域の中でサロンが不足している。家にも近所にも仕事などで不在が多く話し相手がない事がある。住民が気軽に集える場所が必要と感じます。
- 近所のお年寄りの状況は全く分からない。
- 親の介護のとき施設利用期間、支払い費用の心配が有りました。色々な活動・支援があろうと思いますが最終的には身体が動かなくなった時の場合かな～と思い、介護施設の充実をお願いしたいと思いますが。
- 高齢化でうちの部落も空き家が多いので何とかしたいですね。
- 介護認定になっておられない高齢者2人暮らしの家庭への気配りは、盲目になっているような気がします。
- 子どもへの支援も必要だが高齢者（認知症などに対する）支援ももっと充実させて欲しい。
- 超高齢化社会で若年老人（前期高齢者）と高齢老人（後期高齢者）の支え合い等、65～75歳迄の若年老人をもっと活用するような具体的対策を実施する。

### 【子育て】

- 自分の年齢では子育てに関することくらいしか良く分かりませんが、町内でも地区によって子育て施設の充実度が大きく異なると感じる。子どもの人数にもよるかもしれないが、子供が外で遊べる所（公園や広場）をもう少し充実してほしい。
- これからこの町を担う、子供たちへの支援に力を注いでいただきたい。
- 町内に問23のような子どもの問題があるとは思っていませんでした。でも、もしあるとすれば地域の力で支える方法として「食」については、余った農産物や食材の活用、「衣」については使える衣類をゴミとして廃棄せず有効活用する。差別感が生じないように地域ぐるみで取り組む。利用し易く管理しやすい場所の確保と品物を管理するボランティアの確保が必要ですが、岩美町を愛する元気な老人パワーに担っていただけるのではないのでしょうか。
- 少子化が全て問題の元。町は少子化対策に強力に対処すべき。

### 【町政】

- 鳥取市と合併をしなかったことで町内のすみずみまで行政による支援が行き届いているのを感じます。が、その分行政に頼り、自分達地域での助け合いが少ないのではと感じます。行政の支援を受けながら、地域の力を高めていけたらいいのかなと思っています。実際自分に何が出来るのか分かりませんが。
- 必要な経費と税金の使い方をしっかり考えてもらいたい。高い税金の馬鹿らしい使い方はやめてほしい。
- 特になしです。良い環境にできるといいですね
- 初歩的な私見です。先進国になると若者（子供を含む）が少なくなり、高齢者が多くなる世界的な例でもある。つまり支える人数がすくなくなる。予算でも実際の面でも無視を出来ない時になっている。重点的には、出産幼児教育育成に重点を置く。成人、高齢者は気持ちをつなぐ事で連

携を強める方向に進むべきと考えます。

- 高齢化と少子化。岩美町にとっての課題は、人口が少ないことと大きなこの2つがテーマだと思います。人口が少ない＝人づきあいがし易いと考えて1人1役、2役3役と色々なことに関わりを持つことが大事だと考えます。ボランティアもNPO活動ももっと積極的に町が公的なサポートをして欲しいです。新しくなった中央公民館を活用して、講演会や養成講座を積極的に行ってほしい。

#### 【ボランティア】

- 困っている人がいたら、助けたいという気持ちはあるんですが、どのように協力できるか分からない自分がいます。
- 問24の回答は、現状が分からないが重要と思い記入しました。将来は、どうなるかわかりませんが、動けなくなった時にどう生活していくのか不安があります。相談窓口、福祉のサービス等充実することで不安も解消出来るかと思えます。
- 現在福祉、ボランティアに対する住民の意識は低いと思います。なぜならほんの小さなボランティアにでさえ参加する人は少なく、ただその仕事に携わる方、役員になっている方が頑張っているように思います。身近な地域の中でも、もう少し見守り等に目を向けて行きたいし、もらいたいと思います。いずれは自分たちもその側になるのですから。

#### 【相談窓口】

- 色々な相談事、悩みごとがあっても、どこにいったらいいか分からない事があるので総合的な受付があったら良いのではないかと。
- 分からない事が多すぎて「ボーと生きていました。」何かしなければと思いますが、現実には頭が回りません。どんなことでも話を聞いてもらえる場所であればうれしいです。
- 福祉に関する相談方法の仕方がわからない。

#### 【生活費】

- 岩美町で暮らしていくためにはどれ位の貯金があれば良いという試算額を町民に周知してほしい。
- 「認知症になったら施設に入る」と気軽に言っているが、実際に月々いくらかかるのか、手続きはどこに行くのかなど、知られていない事が多い。誰もが幸せに暮らせる岩美町になるといいですね。

#### 【交通】

- 交通手段が確保されている事で高齢者の活動幅が広がると思うので、安価で利用できるシステムを考えてほしい。

#### 【外国人】

- 外国人の優遇はやめてほしい

#### 【生活支援】

- 生活保護や母子家庭が多すぎる。本当に困っている人のみに当てる位が良い。税金が高い。